



あいち食育
いきいきレポート
2018



平成30年7月
愛知県
食育推進会議

はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、平成28年3月に第3次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2020」を作成しました。

このプランで掲げた「食育の実践による健康で活力ある社会の実現」のために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々な連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、プランの2年目である平成29年度に行われた県内の食育推進の取組の中から、特に①5年以上継続して行われている取組、②「あいち食育いきいきプラン2020」で新たに追加された取組、③平成29年度に新規に行われた取組、④複数の関係者が連携して行った取組をレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域にあった食育推進の一助となれば幸いです。

マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

目次

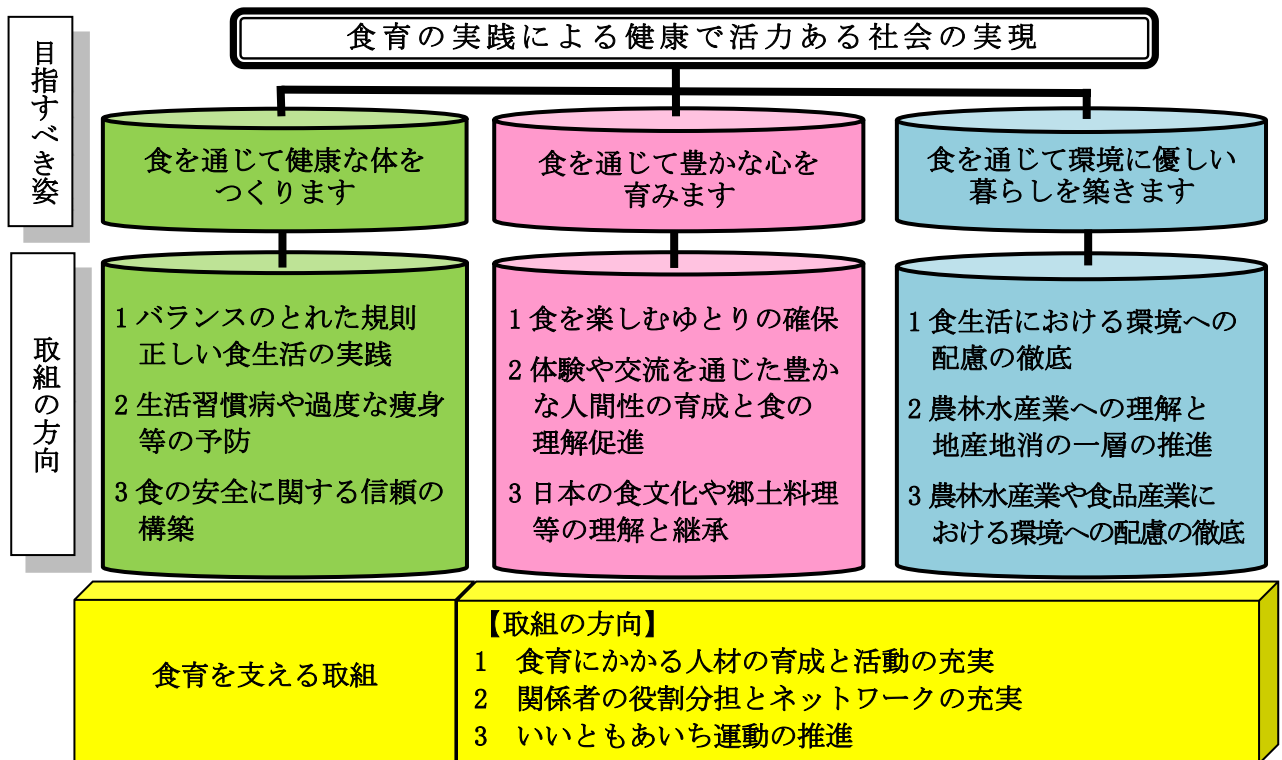
I	「あいち食育いきいきプラン 2020」について	1
II	特集「愛知県食育推進ボランティア」の活動について	3
III	平成 29 年度の主な取組の状況	6
	 食を通じて健康な体をつくるために	6
	1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践	6
	2 生活習慣病や過度な痩身等の予防	15
	3 食の安全に関する信頼の構築	19
	 食を通じて豊かな心を育むために	22
	1 食を楽しむゆとりの確保	22
	2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	25
	3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	34
	 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために	41
	1 食生活における環境への配慮の徹底	41
	2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	45
	3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	48
	 食育を支える取組	49
	1 食育にかかる人材の育成と活動の充実	49
	2 関係者の役割分担とネットワークの充実	53
	3 いいともあいち運動の推進	55
IV	県や関係団体の取組一覧	57
V	食育推進に関する問合せ先	73

I 「あいち食育いきいきプラン 2020」について

「あいち食育いきいきプラン 2020」（第3次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画「あいち食育いきいきプラン」及び第2次食育推進計画「あいち食育いきいきプラン 2015」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するために平成28年3月に作成したものです。

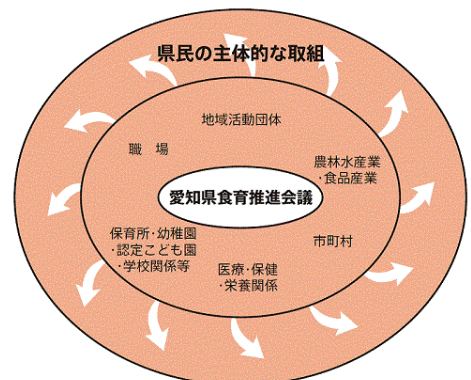
1 目指すべき姿と基本コンセプト

- このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- 規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、地産地消の推進や食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。



2 取組の特徴

- あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健康で豊かに暮らすためには、生涯を通じた間断のない食育が重要です。
このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目のない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、多様な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



3 県や関係団体等の取組

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

以下では、取組を働きかける生活場면을下記のとおりに表示

保幼 保育所・幼稚園 職場 勤務先
 学校 小学校～大学 地域 その他の場所

■ 取組の体系

取組の体系	取組の目的	取組の内容	生活場面			
			保幼	学校	職場	地域
食を通して健康な体をつくるために	バランスのとれた規則正しい食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●
		イ 学校における小中学生への食に関する指導のさらなる充実		●		
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
		エ 高校における食育の充実		●		
		オ 青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進			●	●
		カ 妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進				●
		キ 高齢期における食による健康維持の推進				●
	ク 野菜摂取量を増やす取組の推進				●	
	生活習慣病や過度な痩身等の予防	ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●		
イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進		●	●			
ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策			●			
エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善のさらなる推進				●	●	
食の安全に関する信頼の構築	オ 地域における健康づくりの推進				●	
	ア 食品表示の適正化の推進				●	
	イ 食の安全に関する情報提供や意見交換		●		●	
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進				●	
	エ 食品と医薬品との相互作用等に対する普及啓発				●	
オ 学校給食等における食物アレルギーへの対応	●	●				
食を通して豊かな心を育むために	食を楽しむゆとりの確保	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●		
		イ 家族や友人と食事をとるための環境整備			●	●
		ウ 高齢者の孤食対策等				●
	体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保	●			●
		イ 少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実		●		●
		ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供				●
	日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	ア 子どもに対する食事作法の習得	●	●		●
		イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進	●	●	●	●
		ウ 日本型食生活の推進、郷土料理等地域の食文化の継承				●
食を通して環境に優しい暮らしを築くために	食生活における環境への配慮の徹底	ア 子どもに対する環境学習の推進		●		
		イ 環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践				●
		ウ 環境に配慮した食生活の実践				●
	農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進		●		●
		イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●		
		ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●	●
	エ 直売所における生産者と消費者の交流				●	
	農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用				●
		イ 食品関連事業者における食品廃棄物等の削減				●
ウ フードバンク活動の普及啓発					●	
食育を支える取組	食育にかかる人材の育成と活動の充実	ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●		
		イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●	●
		ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実				●
		エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進				●
	関係者の役割分担とネットワークの充実	オ 食育推進資料の作成や調査の実施				●
		ア 活動主体同士の情報共有と連携の強化		●		●
		イ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有				●
	ウ 食育に関する情報発信の充実				●	
	いいともあいち運動の推進	ア 運動の定着促進				●
イ 協働活動の充実					●	
ウ 県産農林水産物の利用拡大					●	

II 特集「愛知県食育推進ボランティア」の活動について

1 愛知県食育推進ボランティアの概要

「あいち食育いきいきプラン 2020」に基づき、望ましい食生活を実践し、生涯にわたって健康に暮らすことができるよう、地域で県民の皆さんに対し食育活動を自主的に行っていただく方を「愛知県食育推進ボランティア」（以下「ボランティア」という。）として登録し、活動を支援しています。

平成 30 年 3 月末現在、1,148 名の方がボランティアとして登録されており、栄養や食文化、農林水産業などそれぞれの特技や経験を生かしながら活動しています。

■活動分野と内容

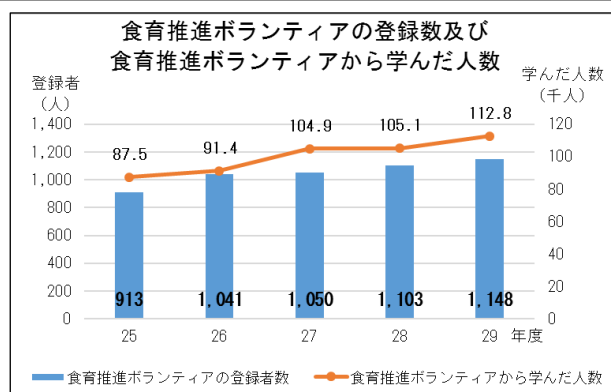
分野	内容
食育全般	食育全般、食事バランスガイド、食生活指針 など
栄養・調理	生活習慣病予防、栄養管理、バランスの良い料理講習、食材の選び方、子供や男性を対象とした料理教室、エコクッキング など
食品の安全	食品表示、食品衛生、食中毒 など
生産加工	地産地消、農林水産業、農林漁業体験学習、農産物加工体験 など
食文化	食事マナー、地域の食文化紹介、郷土料理紹介と調理実習 など
その他	食に関する紙芝居、演劇、エプロンシアター など

平成 29 年度に多く行われた取組

- 男性を対象とした料理教室 【105 件】
- 野菜摂取量向上を目的とした高齢者向け料理教室 【61 件】
- 食文化の継承に向けた体験学習（味噌仕込み体験など） 【55 件】
- 親子を対象とした郷土料理教室 【52 件】
- 保育園、幼稚園児を対象にしたバランスの良い食事についての講座 【31 件】

上記の取組以外にも、「食品ロス削減」や「減塩」をテーマにした料理教室や講座などが行われています。また、高校生、大学生、女性を対象とした活動も多く行われています。

活動を通してボランティアから食育を学んだ人数は年々増加しており、平成 29 年度は約 11.3 万人の方が食育を学びました。



ボランティアの派遣申込方法については、

Web サイト「食育ネットあいち」内「食育推進ボランティア」ページを御覧ください。

URL: <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/info/volunteer.html>

2 愛知県食育推進ボランティアの活動事例（平成 29 年度）

保育園での食育活動

尾張旭市健康づくり食生活改善協議会

平成 29 年 6 月 5 日、尾張旭市立西部保育園において、園児 28 人を対象に活動を行いました。

食育の歌を歌ったり、朝ごはんや栄養バランスの大切さを伝える紙芝居の読み聞かせをしたりと園児たちと積極的に交流を行いました。また、よく噛むことの大切さを伝える雑穀クッキーの試食、とれたての野菜を触る体験など、園児たちに楽しんでもらいながら食育の大切さを伝えました。



食まるファイブを使った食育活動

津島市食生活改善推進員

平成 29 年 8 月 1 日、津島市の双葉保育園において、年中、年長の園児を対象に食育指導を行いました。

主食、副菜、主菜をそれぞれの働きに合わせて色を分け、どの食べ物がどの色になるのかを、食育キャラクター「食まるファイブ」が描かれたパネルを使ってわかりやすく説明したり、身近な食べ物を題材にしたクイズ等を行いました。園児たちは、食べ物にどのような働きがあるか、何を加えればバランスの良い食事になるのかについて、楽しみながら学びました。



親子のお魚教室～みんなで一緒にお魚を楽しく学ぼう！～

常滑市食生活改善協議会

平成 29 年 11 月 26 日、常滑市在住の親子 16 組 37 名を対象に親子のお魚教室を行いました。

前半は株式会社昭和、鬼崎漁業協同組合から地元の魚介を題材とした観察・勉強会やクイズ、ゲームなどが行われ、後半にボランティアの指導による地元の海産物を使った調理実習を行いました。

実習中は、調理に慣れていない子供たちに対し、包丁の使い方などを丁寧に一つ一つ教えました。

参加者からは、「楽しかった。」「お魚は好きではなかったけど、好きになれた。」などの声が上がっていました。魚について学ぶとともに、子供自身が調理をする貴重な経験の機会になりました。



知立市福祉健康まつりでの食育の啓発

「米太郎」「生活協同組合コープあいち」

平成 29 年 10 月 15 日に行われた知立市福祉健康まつりの「食育コーナー」において、ボランティアグループ「米太郎」と「コープあいち」による活動を行いました。

「米太郎」は、食育紙芝居「アンとジョーのお米大好き」を上演し、子供たちに地元で育った野菜の素晴らしさをクイズも交えながら、わかりやすく伝えました。また、メンバーが栽培した旬の野菜や果物を並べ、「これは何の野菜かわかる人？」と子供たちに笑顔で語りかけると、子供たちは大きな声で答えていました。

「コープあいち」のクイズでは、野菜や果物の名前を当てはめていくクイズを通して地元の農産物や旬の食材、行事食などについて、親子で話し合う姿が見られました。



朝食に野菜を食べることの大切さを啓発

豊田市健康づくり食生活改善協議会

平成 29 年 6 月 28 日、豊田市立伊保小学校において児童と保護者 73 名を対象に行いました。

「元気になる朝ごはん」をテーマに、児童が今朝食べた朝食を栄養素ごとに色分けした上で、栄養バランスの確認を行ったり、1 日の目標摂取量である 350g の野菜を実際に量る体験や朝ごはんでは野菜を食べることの大切さの話などを行いました。

参加者からは、「普段の朝ごはんでは全然栄養が足りてない。」、「野菜 350g はこんなに多いんだね。」、「朝ごはんには具沢山のお味噌汁を作りたい」などの感想が聞かれました。



あいちの農林水産フェア日替わりイベント

個人、グループ登録者合計（6 名）

平成 29 年 11 月に行われた「あいちの農林水産フェア」の日替わりイベント「食育の広場」において、食育クイズや豆つかみゲーム、粉当てクイズなどを行いました。

クイズに苦戦している参加者にヒントを出したり、愛知県の郷土料理や食材についてわかりやすく解説したりと、楽しみながら参加者と積極的に交流しました。



Ⅲ 平成 29 年度の主な取組の状況



食を通じて健康な体をつくるために

乳幼児期から高齢期にいたるまで、ライフステージに応じた「バランスのとれた規則正しい食生活の実践」、子供の肥満予防や思春期からの過度な痩身の予防、職場等での健康指導など「生活習慣病や過度な痩身等の予防」、及び「食の安全に関する信頼の構築」に取り組みました。

1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践

離乳食教室

豊根村

●実施時期：【第1回】平成29年7月29日、【第2回】平成29年12月7日

●対象者：乳児を持つ保護者

●内容

保護者が「離乳食」と気構えず、気楽にできるよう、基本的な知識を伝えるとともに、食に対する不安や疑問を相談する場として、保健センターで離乳食教室を育児講座の一環として実施しています。

第1回は3組、第2回は7組の親子の参加がありました。

当日は子供の月齢に応じてグループを作り、栄養士から離乳食についての基本的な話やテクニックを教えてもらった上で、保護者が実際に離乳食の調理を行いました。調理後には参加者がテーブルを囲んで試食をしました。

また、栄養士が参加者一人一人に声をかけ、アドバイスをを行いました。

●活動の成果、今後の課題

村には在勤の栄養士がおらず、親は離乳食や子供の栄養について専門家の話を聞く機会がありません。年2回ではありますが、食に関する知識を得る貴重な機会となっています。

里帰り出産等で村に戻ってきていない人以外は、対象者全員が参加をしてきており、大変関心の高い事業だと感じています。今後も継続していきたいと考えています。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：地域〉

「野菜の名前当てクイズ」をして、野菜に親しみ、興味をもとう

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（安城市立さくの幼稚園）

●実施時期：平成 29 年 12 月 19 日

●対象者：年長児

●内容

野菜嫌いの子が多い中、野菜に親しむことで少しでも野菜に興味を持ち、食べる意欲につながればと思い、年長児を対象とした食育指導を実施しました。

当日は、安城市子ども課と給食課の栄養士を園に招き、「野菜の名前当てクイズ」を行いました。

4～5 人のグループで布袋の中の野菜を考え、においを嗅いだり、感触を言い合ったりしました。答え合わせの後は、栄養士の方から野菜についての話がありました。その後、給食を児童と栄養士の方が一緒に食べ、給食に使われている食材についても教えてもらいました。

●活動の成果、今後の課題

「野菜はお腹を掃除してくれるんだって」、「お肌もすべすべになるよ」など栄養士の方から聞いた話を給食時に言いながら、野菜を食べるようになりました。食べる量も増えて、残飯を減らすこともできました。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：保幼〉

高校生への食育講座

豊田市

●実施時期：通年

●対象者：豊田市内高等学校（3 校）の生徒

●内容

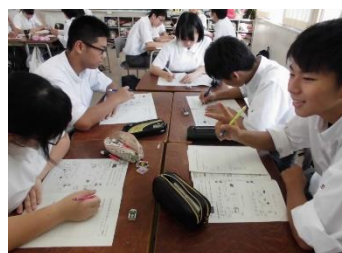
若い時から食の大切さを理解し、望ましい食生活を身に付けられるようになること及び卒業後の学生生活や社会人生活で自立した食生活を送れるようになることを目的に、自ら食事を選び、作る力を育むための食育講座を、高校生を対象に実施しました。

市が作成したワークシートを用いて、養護教諭や市が学校に派遣する管理栄養士による講話・調理実習を行いました。

●活動の成果、今後の課題

食生活の問題点を生徒が自ら考える機会を設けたことで、自身の食生活に対する振り返りや今後の食生活の改善に繋がる良い機会となりました。

例年、講座案内は市内全校（15 校）に PR していますが、講座を利用する学校が少ないため、今後は養護教諭等と連携し、食育啓発の必要性や講座の PR をしていく必要があると考えています。



〈取組項目：高校における食育の充実〉

〈取組場面：学校〉

つながる食育推進事業

愛知県教育委員会健康学習室、瀬戸市教育委員会

●実施時期：平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月

●対象者：新入学児童保護者および瀬戸市立水野中学校の生徒・保護者等

●内容

「つながる食育推進事業」は、栄養教諭が中心となり、学校を核として地域の生産者や関係機関・団体等とも連携しつつ、学校においてより実践的な食育を行うとともに、その活動に保護者も参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築することを目的としています。

県においては、委員会を開催し、新入学児童保護者向けリーフレットを作成するとともに、モデル校（瀬戸市立水野中学校）において「健康な心と身体をもつ生徒の育成～人・命のつながりと広がりを通じて～」をテーマに、「共食」を意識しながら、①教科や日常の活動を通じた生徒への指導、②生徒・保護者の食に関する体験活動、③家庭・地域への啓発活動などを実施しました。

●活動の成果、今後の課題

モデル校の生徒・保護者が共に自分のこととして食に関する意識や関心が高まり、生徒の生活に変化が見られるとともに、家庭において、地産地消を意識した食材が選ばれたり、食事内容について会話する機会が増えたりしてきました。また、食に関する正しい知識を得たことで、これまでの自分の食習慣を見直すようになってきています。

今後も、国の事業を活用しながら、教育活動を通じた取組を継続・波及していきたいと考えています。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導のさらなる充実〉

〈取組場面：学校〉



学級訪問栄養指導(中学生)

東郷町給食センター

●実施時期：平成 29 年 10 月～平成 30 年 2 月

●対象者：東郷町内中学生

●内容

栄養教諭と養護教諭が、学年ごとにテーマを決め、中学生に対して栄養指導を実施しています。

平成 29 年度は 1 年生が「カルシウム」、2 年生が「朝食」、3 年生が「生活習慣病」とその学年に合わせたテーマで、それらの大切さや必要性などを学ばせ、将来を見据えた食教育を実施しました。

いずれも学校給食を例にとり、より具体的で身近な話題にすることにより、自分で選択して食べるという力を身に付けさせるように働きかけました。

●活動の成果、今後の課題

生徒からは、「給食で摂れない残り半分のカルシウムを家で頑張って摂ろうと思う。」や「朝食は必ず食べようと思った。」「卒業したら給食がないので、自分で気を付けていかなければならないと思った。」などの感想が聞かれました。

年に 1 度ではありますが、継続した指導ができていますので、これからも続けていきたいです。

〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実〉

〈取組場面：学校〉

産業フェスタでの食生活診断実施

みよし市食育推進会議

●実施時期：平成 29 年 11 月 5 日

●対象者：市民

●内容

みよし市緑と花のセンターの「産業フェスタ」において、食育 SAT システム(株式会社いわさき製)を使用した、みよし市食育推進会議による「食生活診断」を実施しました。

みよし市食生活改善推進協議会会員の協力のもとで実施され、普段の食事を見直すことで食育について考えてもらうきっかけとなりました。

また、管理栄養士による栄養バランスの指導も交えながら、食の大切さを知ってもらう機会にもしました。

●活動の成果、今後の課題

当日は 283 名の幅広い世代の方が参加されました。

みよし市食生活改善推進協議会の会員や管理栄養士の指導のもと、正しい食生活や栄養バランスについて知ってもらい、身近なところから食育を実践してもらうよう促すことができました。

今後も広く市民の方に食育推進の取組を実施していきたいです。



〈取組項目：青年期以降の若い世代を中心とする食育の推進〉

〈取組場面：地域〉

給食センター施設見学試食会

長久手市給食センター

●実施時期：平成 29 年 6 月 12 日、11 月 16 日、平成 30 年 1 月 25 日

●対象者：市内在住、在勤、在学者で食育などに関心を持っている個人又は団体

●内容

平成 29 年度は、合計 3 回実施し、のべ 57 人に参加いただきました。

「食育月間」や「愛知を食べる学校給食の日」と開催日を合わせ、地元生産者会の協力を得て、長久手市産の旬の野菜や、県内産の食材を使用したデザートなどを使った献立を試食していただきました。

また、千人釜で作る調理作業を見学窓から見学したり、実物と同じスパテラ（へら）を持ったり、栄養士に献立作りについて話を聞いたりしていただきました。



●活動の成果、今後の課題

給食事業について理解を深め、食の大切さや食に関する正しい知識を学んでもらうことができました。

〈取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援〉

〈取組場面：地域〉

生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業（学生編）

愛知県食生活改善推進員連絡協議会

●実施時期：平成 29 年 9 月～平成 30 年 2 月

●対象者：県内高校生、大学生

●内容

朝食欠食の解消及び食事バランスの普及を目的に、県内 10 協議会で生活習慣病予防のための講座等を開催しました。

内容は、「朝食の欠食による弊害」、「野菜摂取の必要性」、「BMI や適正体重」、「食事バランスや減塩の必要性」の講義の他、可能な限り調理実習も併せて実施しました。調理実習では、彩りよく野菜が摂取できるよう、また季節のものを多く取り入れられるよう心掛けました。

各回 20～30 名が参加し、テキストは学生向けに漫画形式で編集したものを使用しました。



●活動の成果、今後の課題

「毎日の食事作りの大変さがわかり、親の苦勞がわかりました。」「自分の食習慣や偏りを実感できたので、今後直していきたいと思います。」「朝ごはんの大切さが理解できました。もっとしっかりと食べるようにしたいと思います。」「この内容を家族にも伝え、レシピ内容を実践したいと思っています。」等の感想があり、感謝の言葉も聞かれました。

活動を理解し、協力してもらえる高校や大学探しが今後の課題です。



〈取組項目：青年期以降の若い世代を中心とする食育の推進〉

〈取組場面：地域〉

妊娠・授乳サポート薬剤師

一般社団法人愛知県薬剤師会

●実施時期：通年 ●対象者：妊婦・授乳婦と家族

●内容

各地区において、保健所・保健センターが開催する「プレママ教室」等に「妊娠・サポート薬剤師」を派遣し、葉酸の必要性に関する情報、妊娠期・授乳期における薬剤を使用する時に知っておきたいことについての啓発活動を行いました。

また、赤ちゃんへの影響を恐れるあまり、妊娠期、授乳期に自身の服薬を中止し症状を悪化させることのないよう正しい知識を広める活動もしました。

●活動の成果、今後の課題

認知度が高まるにつれ、問合せも増えてきました。今後も、保健師、助産師などの他職種も含めた一層の周知活動を続けていきます。

〈取組項目：妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進〉

〈取組場面：地域〉

男性のための栄養教室

刈谷市

●実施時期：平成 29 年 7 月～8 月、11 月～12 月 ●対象者：市内在住の 65～69 歳男性

●内容

超高齢社会を迎え、65 歳以上の夫婦二世帯や一人暮らしの世帯が増加しています。介護予防の観点のもと、栄養バランスや調理の基本を身につけ、日常生活における自立を促すとともに、参加者同士の交流を深めて閉じこもりを予防することを目的に教室を開催しました。

内容は、食材の切り方、調味料の計量、健康日本 21 かりや計画、野菜の摂取、三色食品群についての講義及び調理実習です。5 回の教室で 1 コースとし、計 2 コース実施しました。参加者は合計 44 名でした。

●活動の成果、今後の課題

参加者からは「料理をするきっかけができた」、「チームで楽しく料理ができた」などの意見が多くあり、事業の目的を達成することができました。

適切な食塩量のレシピで実習を行っていますが、味が薄いとを感じる参加者も少なくなく、現在これに「気づく」機会にはなっていますが、より具体的な改善策を伝える必要があると考えています。



〈取組項目：高齢期における食による健康維持の推進〉

〈取組場面：地域〉

オリジナル野菜の歌「届け！野菜の力」の制作と体操を活用した啓発活動

愛西市

●実施時期：平成 29 年 8 月 26 日、平成 30 年 1 月 28 日及び各施設の計画に基づき実施

●対象者：「野菜の日イベント」や「あいさいフェスティバル」に来場した市民、小・中学校生等

●内容

平成 28 年度に愛西市健康日本 21 計画推進の一環として、野菜の栄養と摂取量の目安、地元で生産される野菜の名前などを歌詞に入れたオリジナル野菜の歌「届け！野菜の力」を制作し、その CD を市内小中学校等に配付して給食の時間の放送などに活用しています。

平成 29 年度は幅広い年代に歌を知ってもらいきっかけとなるよう、歌に合わせた体操の振り付けを作成して、市内のスーパーマーケットやイベントでの啓発に活用しました。

●活動の成果、今後の課題

8 月 26 日にスーパーマーケット行われた「野菜の日イベント」では、体操の発表や野菜レシピの配布、野菜に関する掲示や体験を行い、約 100 名の参加者がありました。

また、1 月に開催した「あいさいフェスティバル」の会場でも、健康づくり運動推進協議会の指導による歌と体操の発表会を行い、約 100 名の参加者と一緒に気持ちよく体を動かしました。

〈取組項目：野菜摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」

知多市

●実施時期：通年

●対象者：市民

●内容

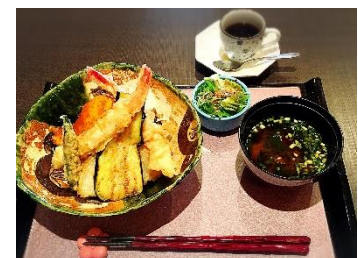
野菜がしっかりと摂取できる環境づくりを行い、市民の健康に対する意識を高め、野菜摂取量向上につなげていくため、市内飲食店において、一食あたりの野菜の使用量、塩分量、エネルギー量の基準を満たしたメニューを「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」として認定しています。

平成 30 年 1 月 13 日から 3 月 11 日には、市商工会主催でヘルシーメニューを対象とした「みんなで健康スタンプラリー」も開催しました。（詳細は市ホームページでも紹介しています。）

●活動の成果、今後の課題

平成 29 年度は新規 1 店舗と新規 5 メニューを含む 15 店舗 20 メニューがヘルシーメニューとして認定されました。

新規店舗の獲得と提供店舗へのフォローアップが今後の課題となっています。



〈取組項目：野菜摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

マタニティ栄養教室

あま市

妊娠期及び授乳期における適切な食習慣の確立を支援するために、妊産婦のための食事バランスガイドを用いた健康教育や情報提供を行いました。

妊娠高血圧症候群予防のための減塩の工夫や、貧血予防のための鉄分の積極的な摂取のアドバイスを行いました。また、鉄分がしっかり摂れるレシピの紹介と試食の実施、さらに妊婦に必要な魚の種類について周知しました。教室回数は年9回、参加者は母42人、父12人でした。

参加者からは「試食の料理を自宅で作りたい。」「減塩の工夫が分かりやすい。」という声が聞かれ、妊婦同士の交流の良い機会ともなりました。

実施回数と試食の内容を検討した上で、今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。

新鮮！地場産！野菜料理フェア！

岩倉市、食の健康づくり推進員、愛知北農業協同組合

地元で育った野菜を多くの人に食べてもらうことで、野菜摂取量増加の周知啓発を図るとともに、地産地消を推進することを目的に、平成29年12月7日にJAと岩倉市のコラボ事業を実施しました。

当日は、JA愛知北が会場と地場産野菜の準備を行い、岩倉市の栄養士と食の健康づくり推進員が講師として活動しました。

参加者はグループ毎に、食の健康づくり推進員が作成した「季節の野菜料理 プラス1品集」の中から料理を選び、調理実習を行いました。

今後も、このような生産者と消費者双方のニーズや思いが伝わる活動を継続的に支援していきたいと思えます。

食まる食育活動

刈谷市立重原幼稚園

3歳児：食まるファイブに登場してもらい、食まるの名前と各食まるの仲間の食べ物を教えてもらい、食まるファイブを身近に感じられるように触れ合いました。

4・5歳児：パワーポイントや五感を使った食べ物当てゲームなどを通して、5色（食まる全員）が揃うことでバランスがとれ、元気で丈夫な体になることを学びました。

どの学年も、給食を食べながら「お豆は『にくまる』だよね。」「今日の給食はフルーツまるがないね。お家でみかんを食べよう。」などと、食まるファイブと食べ物を照らし合わせたり、5色が揃うように食べようとしたりする姿が見られました。



まんずまんずクッキング

岩倉市、食の健康づくり推進員

岩倉市には、男性だけの料理グループ「まんずまんずクッキング」があります。このグループは、男性が料理を作る楽しさ・面白さを味わいながら、それを他の男性にも伝え、食に興味のある男性同士、交流を深めているものです。平成29年度は、旬の野菜を使った簡単料理の紹介や、今後の活動に向けた勉強等を行いました。男性の食への関心を高めるとともに、仲間作りにもつながりました。

エプロンシアター

「元気なからだになろう」をテーマにエプロンシアターを行いました。
赤（体をつくる）、緑（体の調子を整える）、黄（体を動かす力になる）の3色のエプロンを使い、バランスよく食べることで元気なからだをつくることのできることを楽しく学びました。
今後は、エプロンを使って、色々な展開ができるように検討していきたいです。

飛島村



いいともあいちフェア

県民の野菜摂取量の向上を図る為、企業団加盟 14 社がそれぞれ、「1 人あたり 120 g 以上の野菜を摂取できる」というテーマのもとでレシピを開発し、リーフレットを作成して県内のショッピングセンター（アピタ・ピアゴ）で 11 月 20 日から配布しました。また 11 月 25 日～26 日にはアピタ 17 店でレシピの試食を行い、同時に愛知県の野菜や 1 日に必要な野菜摂取量を紹介しながら、野菜摂取量の向上に努めました。
今後はより深く、多くのお客様へ伝えられるようにしていきたいと考えています。

あいち食育サポート企業団



成人向け料理教室（食生活改善推進委員会委託）

「食生活改善推進委員会」による料理教室を 10 月と 1 月の 2 回開催しました。平成 29 年度のテーマは「減塩」と「バランスのとれた食事」で、1 月の取組ではそれに加えて、愛知県の野菜摂取量が全国でも低いことから、「300 グラム以上の野菜」が入ったメニューで料理教室を行いました。
当日はまず、食生活改善推進員から、野菜は食物繊維が豊富で免疫力が付くことや、1 日に 350 グラムの野菜を摂取しなければならないといった説明がありました。次に、調理実習が行われ、「鶏肉とミックスビーンズのトマト煮込み」など 4 品を作成しました。
その後、試食が行われ、今回の調理の振り返りや、家庭で行っている調理についての意見交換などを行いながら、和気あいあいとした雰囲気です試食する参加者の姿が見られました。食べる前は「こんなにたくさん食べられるかな？」などの声も出ていましたが、殆どの参加者が完食し、味も気に入っていただけました。平成 30 年度も継続して行っていきたいと考えています。

日進市

大型仕掛け紙芝居「コウくんとバランスマン」

園児を対象として作成した大型紙芝居を用い、①朝食を摂る②バランスよく食べる③生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）の大切さを伝えています。
園児と同年齢の主人公（コウくん）とヒーロー（バランスマン）が登場し、仕掛けを取り入れるなど、楽しく学べる様に工夫しています。紙芝居後は、栄養クイズを実施しています。平成 29 年度の参加者数は園児 35 名でした。
取組を継続してもらえよう園への PR や、保護者も同席する場で保護者向けにも食生活の大切さについて伝える機会の確保が今後の課題となっています。

愛西市

2 生活習慣病や過度な痩身等の予防

親子歯みがき教室

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（常滑市立常滑幼稚園）

●実施時期：平成 29 年 6 月 14 日

●対象者：全園児・5 歳児保護者

●内容

常滑市立常滑幼稚園では、保健センターの歯科衛生士による巡回指導を受けています。

歯科衛生士は歯みがきの大切さや正しい歯みがきの仕方について、手作りの絵図を使いながら園児たちに分かりやすく話をしていました。

年長の保護者は、6 歳臼歯の大切さや仕上げみがきの重要性について話を聞き、実際に歯の汚れの染め出しチェックを行いました。

また、希望者に対しては個別指導も行い、日頃心配していることやおやつ選び方などを相談できる良い機会となりました

●活動の成果、今後の課題

子供たちから「好き嫌いせず何でもよく食べよく噛んで」、「しっかり歯みがき」という言葉が聞かれ、今後の保育でも継続していきたいと思われました。

保護者も 6 歳臼歯の大切さを知り「仕上げ磨きをしっかりやりたい」と、歯への関心が高まりました。

平成 28 年度から始まったフッ化物洗口を継続して実施することで、歯の健康づくりを通して食育に取り組みたいと思います。



〈取組項目：歯の大切さについての子供への啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼〉



平成 29 年度 愛知県歯科医師会 食育推進研修会

一般社団法人愛知県歯科医師会

●実施時期：平成 30 年 1 月 11 日

●対象者：愛知県内保育園・幼稚園教諭、行政関係者、幼稚園・保育園担当歯科医

●内容

生涯おいしく食べるには、歯や口が健康でよく噛みながら食べることが重要です。特に、口腔機能の発達のピークとされる幼児期において、正しい食生活をおくるための支援や園での教育は大人になるための基礎を養うということで極めて大切であり、この時期によく噛んだり味わったりする食べ方を体験させることが重要です。

これらのことから、保育園・幼稚園教諭および歯科医師等を対象とした研修会を開催しました。（参加者 240 名）

【内容】

・演題「摂食機能の発達を知る～子供たちの楽しい食事の担い手になろう～」

・講師 あやの歯科医院 副院長 綾野理加 先生他

●活動の成果、今後の課題

参加者に歯科診療および保育の現場で役立つ食育の知識を改めて学んでいただきました。今回の研修会で学んだ知識が、日常業務等を通じて県民の皆さんに広がることを期待しています。

今後もこの研修会を継続していきたいと思います。



〈取組項目：歯の大切さについての子供への啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼、地域〉

健幸チャレンジ教室

岩倉市

●実施時期：通年（1クール9回）

●対象者：①健康づくりを実践したい人、②特定健康診査等の結果、メタボリックシンドローム予備群等と判定された人

●内容

広報での紹介や特定健康診査の際に教室の周知を行った上で、医師・歯科医師の講演や栄養・運動の講座を盛り込んだ「健幸チャレンジ教室」を開催しました。

栄養面では、3日間の食事記録票を提出してもらい、栄養分析を実施した他、調理実習で「噛む」体験や食行動のチェックをしたりしました。また、特定保健指導の対象者には継続支援を実施しました。

歯科医師による講演では「良く噛む」ことをテーマに取り上げ、ガムによる噛むことの体験等も実施しました。

●活動の成果、今後の課題

参加者が少なかったため、特に特定保健指導対象者には周知を行い、特定保健指導利用率の向上につなげたいと思います。

〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

あいち県民健康祭 「なんでも栄養相談」

公益社団法人愛知県栄養士会

●実施時期：平成 29 年 9 月 16 日、17 日

●対象者：県民

●内容

あいち健康プラザにおいて「はじめよう、健康につながる第1歩」と題し、様々なイベントが開催される中、健康の保持増進や疾病予防を目的に、栄養知識の普及啓発のため栄養相談を行いました。

骨密度や握力の計測結果と合わせて栄養相談を実施することで食生活改善の意識を高めてもらい、レシピの配布説明など具体的なアドバイスの他、個別の相談にも応じました。参加者は栄養相談 209 名、骨密度測定 223 名、握力測定 213 名でした。(2 日間合計)

●活動の成果、今後の課題

「握力、骨密度測定後に栄養相談をしたことで食事や運動に関心を持つようになった。」「昨年度骨密度の結果が悪く、栄養相談での指導通り実行したら今回改善されて嬉しかった。」などの声が寄せられ、今後も継続したいと考えています。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

健康づくり教室、健康カレッジ(通所型)「リバウンドしないダイエットセミナー」

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：平成 29 年 12 月 9 日～平成 30 年 2 月 17 日

●対象者：体重減少を目指す成人～高齢者

●内容

運動習慣の定着や食生活の見直しにより、無理のない体重減少を目指す教室を開催しました。参加者の中には極端な食事制限を行っている方や、食事を減らして間食を摂るなどの食習慣の方も多かったため、食事の適量やバランスを知っていただく機会として、バイキング型の実習を行いました。また、食事記録をもとに、自身の食生活を客観的に振り返っていただき、正しい食事習慣による摂取エネルギー減少を目指す支援も行いました。

●活動の成果、今後の課題

教室終了後には、教室開始時より平均 1.6 kg の体重減少がみられました。教室前後に行った食事調査の結果では、全体のエネルギー摂取量は減少し、朝食エネルギー摂取量の増加、菓子・嗜好品エネルギー摂取量の減少がみられました。参加者からは、「食事バランスについて正しい認識がもてて良かった」等の感想をいただきました。今後も地域の様々な年代向けに健康づくり推進に向けた取組が必要と思います。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

よいこの歯みがき運動

北名古屋市保健センター

北名古屋市では、歯や口の健康の大切さを知り、正しい歯磨き方法を理解してもらえるように、平成18年度から「よいこの歯みがき運動」を実施しており、平成29年度は市内14保育園1,307名の園児を対象に行いました。

当日はまず、動物を例に挙げながら、歯の役割、むし歯の予防法等について、媒体を使用しながら話をしました。その後、人形を用いて歯ブラシの当て方を見せながら、子供たちに歯磨きを体験してもらいました。

子供たちは興味深く話を聞いてくれ、口腔の大切さを理解してもらうことができました。

基本的な内容は毎年一緒ですが、その時の流行などを取り入れながら今後も継続していきたいと考えています。

あなたのためのちょいやせ道場

尾張旭市

健康診査事後教室の特定保健指導の一環として、栄養講話や個別指導、調理実習を保健福祉センターで行いました。参加者に食生活習慣行動の改善など、栄養面から学んでいただきました。

調理実習では、参加者同士が終始和やかな雰囲気の中で進行することができました。参加者からは「今日のメニューを自宅で作ってみます。」「参考になりました。」などの声が聞かれました。

食の健康づくり推進員栄養教室

岩倉市、食の健康づくり推進員

岩倉市食の健康づくり推進員は4班に分かれて活動しており、各班がテーマを決めて、19日の食育の日（祝日等の場合はその前後）に管理栄養士と一緒に栄養教室を開催しています。

今年のテーマは「簡単！旬の美味しい野菜レシピで健康づくり」、「産後ママのランチセミナー」、「手ばかり栄養法でバランス食を作ろう」、「秋野菜を使った健康レシピ」の4つで、それぞれのテーマに従って、栄養士が講話、食の健康づくり推進員が調理講習を主に担当して実施しました。

参加者から「参加してとても勉強になった。」「家でも作りたい。」「家にとじこもっていたが、同年代の子供を持つ方と交流ができて良かった。」「楽しい時間を過ごすことができた。」等の感想を聞くことができました。

今後も、地域の様々な年代向けに健康づくり推進に向けた取組を行うことが必要だと考えています。

出前講座

清須市

市民、市内事業者等より依頼を受け、内容に応じて保健師、管理栄養士、歯科衛生士等を講師とした出前講座を開催しています。

平成29年度は、生活習慣病予防、子育て、離乳食、生活リズムと睡眠、歯科保健指導、高齢者食事等の合計61講座を実施しました。

受講された方々にわかりやすく、実践しやすい内容を心掛けており、今後も市民の皆様に依頼いただけるよう啓発していきます。また、職員の資質向上のための研修等にも積極的に取り組みたいと思っています。

3 食の安全に関する信頼の構築

食品表示110番の運営		愛知県食育消費流通課
●実施時期：通年	●対象者：県民、事業者	
●内容	<p>県では、「食品表示 110 番」として、専用の電話・メールの窓口を設置し、消費者等から、偽装表示等の不審な食品表示に関する情報を受付けています。</p> <p>消費者等の通報や、行政機関からの疑義情報の回付を受付けた場合に、食品表示法に基づき、調査を実施し、違反が確認された場合には是正指導等を実施し、食品表示の適正化を推進しています。</p>	
●活動の成果、今後の課題	<p>今後も引き続き窓口を設置し、疑義情報の受付を行っていきます。</p> <p>また、疑義情報を基に行う、調査・指導を通して、表示の適正化を進めていきます。</p>	
〈取組項目：食品表示の適正化の推進〉		〈取組場面：地域〉

研修会やパンフ等による表示制度の理解促進		愛知県食育消費流通課
●実施時期：通年	●対象者：県民	
●内容	<p>県では、職員が無料で集会などの場に出向き、県政の様々な分野について分かりやすく説明する「県政お届け講座」を行っています。</p> <p>この取組の一環として、「食品の産地表示について」と題し、小牧市民を対象に消費者意識の向上を目的とした講座を実施しました。</p> <p>写真を利用して、実際の表示状況を示しながら、食品表示に対する理解を深めてもらいました。</p>	
●活動の成果、今後の課題	<p>食品表示の記載内容やルールを知ることで、食品を選ぶ際の有効な判断材料とすることができます。</p> <p>今後も消費者の方を対象に、こうした取組を続け、食品表示に対する理解促進に努めていきたいと思っております。</p>	
〈取組項目：食品表示の適正化の推進〉		〈取組場面：地域〉

食育講演会及び学校給食試食会

尾張旭市

●実施時期：平成 29 年 7 月 12 日（試食会のみ）、11 月 15 日

●対象者：市民

●内容

学校給食センターで、食の大切さ、食に関する正しい知識を学び、食生活の習慣を身につけてもらうことにより、健全な心身を育むことを目的として講演会を開催しました。また、普段は食べる機会のない給食の実態を知ってもらうとともに、市民の方からの意見・評価を聞く良い機会であるということで給食試食会も併せて開催しました。

【参加者】7 月 12 日：29 名、11 月 15 日 31 名



●活動の成果、今後の課題

試食の際には、「野菜がいっぱいで味付けも良く食べやすかった。」、「皆が食べられるメニューなのが良かった。」、「すべて美味しかったです。」、「バランスが良く美味しかった。」、「子供たちも給食を楽しみに学校へ行っています。」と言った声が聞かれました。

〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：学校〉

HACCP 導入基礎研修

愛知県生活衛生課、一般社団法人愛知県食品衛生協会

●実施時期：平成 29 年 6 月 19 日、20 日、29 日

●対象者：食品事業者

●内容

生活衛生課では、HACCP の導入を推進するため、講習会や委託事業を継続的に実施しています。

平成 29 年度についても、一般社団法人愛知県食品衛生協会に委託している食品衛生相談事業において、食品事業者を対象とした HACCP 研修会を開催し、HACCP の基本的な考え方や HACCP の 7 原則 12 手順、危害分析や重要管理点の設定等について実習を含めた講習を行いました。

●活動の成果、今後の課題

受講者は受講後、HACCP に関する一定の知識を有する者として、食品製造施設において HACCP に基づく衛生管理を実行する等の HACCP チームの中心的な役割を果たすこととなります。

今後も継続的に研修会を開催し、HACCP の導入を一層推進していきたいと考えます。

〈取組項目：安全に関する自主管理と情報開示の促進〉

〈取組場面：地域〉

乳と卵の除去食の提供

岩倉市

●実施時期：平成 29 年 9 月から

●対象者：乳と卵の食物アレルギーを有する児童生徒

●内容

岩倉市では、全ての児童生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しんで過ごせるようにするため、国の「学校給食における食物アレルギー対応指針」や県の「学校給食における食物アレルギー対応の手引」に基づいて食物アレルギー対応検討委員会を設置し、平成 29 年 2 月に岩倉市の「学校における食物アレルギー対応の手引」を作成しました。

これまではアレルギー対応として、飲用牛乳の提供中止や詳細献立表の配布等を行っていましたが、平成 29 年 9 月からは食物アレルギーの中でも対象者が多い、乳と卵の除去食の提供を開始しました。

●活動の成果、今後の課題

今回の対応が軌道に乗った後には、他のアレルギーについても、対応が必要な食数や保護者の要望等に基づきながら、アレルギー成分除去食の対応について検討する必要があると考えています。



〈取組項目：学校給食等における食物アレルギーへの対応〉

〈取組場面：学校〉

アレルギー児、エピペンについての説明

碧南市立大浜保育園

●実施時期：平成 29 年 4 月

●対象者：園職員

●内容

食物アレルギーをもつ児童の一覧表を作成し、除去品目、段階、注意事項、対応について、わかりやすく職員に周知しました。

また、エピペン所持児のエピペン保管場所、取扱いにあたっての注意事項、使用方法についても DVD を視聴しながら周知し、緊急時の役割のシミュレーションをしました。

●活動の成果、今後の課題

今回の取組を通して、アレルギー児、エピペンの使用方法、緊急時の職員の連携などについて職員への周知がされるとともに、緊急時の動き方などを確認することができました。

〈取組項目：学校給食等における食物アレルギーへの対応〉

〈取組場面：保幼〉



食を通じて豊かな心を育むために

家族や友人と楽しみながら食事をとることや、様々な農作業体験、調理実習といった体験や交流を通じて豊かな人間性の育成と食の理解促進を図るとともに、地域に伝わる郷土料理、食事作法等を継承するための取組を行いました。

1 食を楽しむゆとりの確保

食育で子供の笑顔と元気をつくろう

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（名古屋市立はとり幼稚園）

●実施時期：平成 29 年 7 月 10 日

●対象者：園児とその保護者

●内容

食育について、講師の幼少期の体験や簡単にできるおやつ作りなどの話を聞いたり、資料による食品の安全性、栄養価等の知識を得たりする機会を作り、豊かな食生活について関心を深めました。

また、夏休みには、親子でのおやつ作りや、買い物のときに食材について親子で語り合うなどの経験もしました。

さらに 2 学期には、全園児に、弁当の中で好きなおかずを聞き、弁当の写真と共に掲示しました。

●活動の成果、今後の課題

食育について楽しく学ぶ機会になりました。保護者が楽しく学ぶことで、子供と一緒に食育を考えてみようとする意欲につながりました。

園生活の中でも食育に関心をもつことができるよう、実体験を取り入れた活動を大切にしていきたいと思えます。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉



野菜を栽培、収穫しながら給食の素材に関心を持ち、食べることを喜ぶ

東郷町立和合保育園

●実施時期：通年

●対象者：園児とその保護者

●内容

1歳児から5歳児までの各学年が、野菜の苗や種を植えたり蒔いたりして、成長過程を見ながら収穫の楽しさを体験しました。

活動にクッキングを取り入れることで「自分たちで育てた野菜」という意識が芽生え、給食の素材に関心を持つようになりました。また、給食のメニューをボードで掲示することで視覚化され、親子で「今日の給食はおいしそうだね」と会話する姿を見るようになり、親子で給食への関心が深まったと感じています。



●活動の成果、今後の課題

家庭では、肉中心の食事という傾向があるため、栽培された野菜の形を見たり調理したりすることで野菜への関心が高まり、給食で多種類の野菜を食べられるようになっています。

今後は食のバランスや姿勢、マナーについても食育便りや食育ボードを活用して啓発していきたいと思っています。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

SNSを活用した食育月間及び食育の日、共食の啓発

春日井市

●実施時期：平成29年6月

●対象者：春日井市の公式LINE・Twitterに登録している人

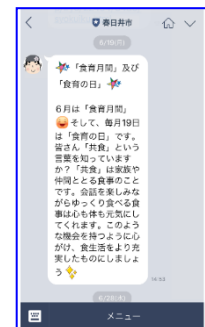
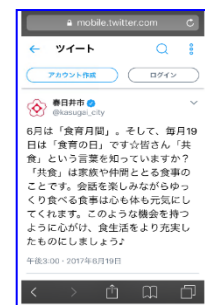
●内容

市の食育推進計画及び健康増進計画である【かすがい健康計画2023】でうたう、共食を通じた食育の推進と市民の理解を深めることを目的として、6月19日の「食育の日」に合わせ、食育月間及び共食の推進をSNSにて登録者（計4,094人）に配信しました。

【配信内容】6月は「食育月間」そして、毎月19日は「食育の日」です。皆さん「共食」という言葉を知っていますか？「共食」は家族や仲間と取る食事のことです。会話を楽しみながらゆっくり食べる食事は心も体も元気にしてくれます。このような機会を持つように心がけ、食生活をより充実したものにしましょう。

●活動の成果、今後の課題

SNSを活用することで、食への意識が高い人だけでなく、関心の薄い人にも啓発を行うことができました。ただ、相手の反応が見られる講座や教室と違い、情報発信が一方通行のため、SNSに登録している人数以外明確な数値がなく、啓発の成果が見えにくいことが課題です。



〈取組項目：家族や友人と食事をとるための環境整備〉

〈取組場面：地域〉

シェフのスペシャルメニュー

岩倉市

児童生徒の味覚を育て、食への知識や関心を高めることを目的として、ホテル等のシェフによる指導の下、特別な給食の献立を調理し提供する「シェフのスペシャルメニュー」を2回実施しました。

実施にあたっては、食材に関しても普段の給食より少し費用をかけ、1食あたり100円を市で補填しています。

1回目は12月1日の市制記念日に実施し、全小中学校でシェフからのメッセージを校内放送で流しました。2回目は1月30日に全国学校給食週間中に行った「ふれあい給食会」にあわせて実施し、市長、教育長、市議会議員、農業委員、教育委員、調理員等が、小学校の児童と会食し交流しました。

1回目は、実施日を市制記念日と併せたことや、食材に県産や岩倉市産の地元食材を多く使用したことにより、岩倉市の誕生日を祝うとともに、地元の農産物に対し関心を深めることができました。

2回目は、この特別な献立と児童生徒たちが市長や議員等と会食することによりこれまで以上に深い交流が図れました。



食育の日 庁内放送

愛知県西三河農林水産事務所

毎月19日の始業時、西三河総合庁舎内の来庁者と職員に対し、庁内放送で「食育の日」、「おうちでごはんの日」であることを伝えています。

また、「あいち食育いきいきプラン2020」で家族や友人と一緒に食卓を囲み、楽しく食事することを勧めていることを紹介しています。

あわせて、西三河地域における旬の農林水産物を紹介し、家族団らんの話題や情報等を提供しています。

まだ「食育の日」「おうちでごはんの日」を知らない来庁者が多いと思われるので、今後も毎月継続して呼びかけ、認知度の向上に努めていきたいと思えます。

地域ふれあい食事会

北名古屋市

介護予防の第一歩として、自宅から出て、食事をする場所の提供を目的とした「地域ふれあい食事会」を開催しました。

平成29年度は、運営をボランティア3団体(食生活改善推進員・男性料理会・みずのわ)に委託して、市内2か所で実施しました。

参加者からは、「美味しい」、「楽しみにしている」等の感想や喜びの声をいただきました。

今後もこの内容で実施していきたいと思えます。

2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

「食育キッチンファーム」の開催

豊川市

●実施時期：【第1回】平成29年8月23日、【第2回】平成30年2月4日

●対象者：小学生とその保護者

●内容

「第2次豊川市食育推進計画」に基づき、調理の機会の充実、地産地消推進、体験活動の充実を施策の一環として、食と農への感謝の気持ちを育むことを目的とした事業です。

第1回は、「味噌」を題材とし、9組18名の親子による食品加工工場の見学、味噌を使った料理体験を実施しました。

第2回は、「ハーブ」を題材とし、14組28名の親子によるハーブの収穫体験、収穫したハーブを使った料理体験を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

第1回のアンケートでは、小学生から「味噌ができる様子が見られて楽しかったです。」「味噌を作る桶が大きくていろいろな工夫がしてあることがわかりました。」と感想があり、地元の食品加工工場について知ってもらえる良い機会となりました。第2回のアンケートでは、小学生から「ハーブの中でもバジルのスープが美味しかったです。」「ハーブの種類が多かったけど説明がわかりやすかったです。」と感想があり、地元産の野菜を知ってもらえる良い機会となりました。

食育に関心を持ってもらえる機会を増やせるよう、もっとあらゆる種類の野菜の収穫体験の場を設けることが今後の課題です。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉



美浜グリーン・ツーリズムを通じて食育体験

美浜町都市農村交流協議会

●実施時期：平成30年2月10日

●対象者：町民等

●内容

美浜町ではグリーン・ツーリズムを実施しています。

今回、初めての企画として、美浜町産のそば粉を使ったそば打ち体験を ao・café＝和そば打ち道場で実施しました。和そば打ち道場の先生に教えてもらいながら、そば粉を混ぜるところから、包丁で切るところまで体験し、作ったそばは、お土産となりました。

体験が終わった後、そば道場の先生が、朝早くから打ってくれたそばを試食し、参加者の皆さんはとても満足していました。

●活動の成果、今後の課題

初めての体験ではありましたが、幅広い年代の参加がありました。

先生が各テーブルに1人ずつ付いて教えてくれたお陰で、どのテーブルもとてもスムーズにそばが出来上がりました。そば打ち体験は初めての方が多く、とても楽しむことができました。今後も、美浜グリーン・ツーリズムの体験として取り入れていきたいと考えています。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

ヤクルト出前授業

半田市立乙川児童センター

●実施時期：平成30年1月31日

●対象者：2～3歳児の親子

●内容

子育て支援課からの紹介があり、自身の健康について興味を持ってもらうためにヤクルトの方を招いて講座を実施しました。

まず、プロジェクターを使用して絵本「おなかくん」の読み聞かせや、お腹によい生活についての話がありました。

話の後にはヤクルトくんが登場し、子供たちは大喜びで握手をしていました。その後、ヤクルトくんと「おなか元気体操」をしました。初めての体操でしたが、子供たちだけでなくお母さんも元気よくやってくれました。最後に1人1本ずつヤクルトの試飲をしました。

●活動の成果、今後の課題

おなかの話は2～3児にはまだ少し難しかったようですが、お母さんたちはしっかりと聞いていました。体操をしているときも「家でもやろうかな」と言っているお母さんもいました。

今後の改善点としては、健康のための「早寝早起き」、「好き嫌いをなく食べる」といったことを普段の活動の中に織り交ぜていけるとより伝わりやすくなると思いました。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

南地域食育サポートの方との交流(カレーパーティー)

大口町立南保育園

●実施時期：平成 29 年 7 月 11 日

●対象者：園児、大口町南地域食育サポート

●内容

大口町南地域食育サポートの方(以下、「食育サポート」という。)との交流や園児にクッキングを体験してもらうため、ジャガイモの収穫体験後に、収穫した野菜を包丁で切る体験と食育サポートの方とのふれあい遊びを内容とするカレーパーティーを計画しました。

当日はカレーができるまでの間、園児による歌やペープサート(紙人形劇)の発表や、手遊びを食育サポートの方と一緒に行って交流を深めた他、収穫物に感謝すると共に皆で会食を楽しみました。



●活動の成果、今後の課題

食育サポートの方とは以前から栽培活動などで顔見知りにはなっていました。今回のクッキング活動や遊びを通して、より交流を深めることができました。

また、自園で採れた野菜を給食に取り入れ、栽培収穫体験を進めることで野菜の苦手な子も進んで食べるようになってきています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

刈谷市の特産品、大根を育てよう

刈谷市立富士松北保育園

●実施時期：平成 29 年 9 月～12 月

●対象者：5 歳児

●内容

毎年、年長組が JA あいち中央の職員と連携して、刈谷市の特産品である大根を、肥料袋を使用して栽培し、地域の産物を身近に感じられるようにしています。

平成 29 年度も JA の方と一緒に種を植え、水やりをしたり、間引きをしたりしながら育てました。

また、給食に子供たちが栽培した大根を使用することで、他の年齢の子供たちも、大根に関心をもてるようにしました。

●活動の成果、今後の課題

毎年行っているのので、「5 歳児になると大根を育てられる」と楽しみにしている子もいます。

この活動を続けることで、家庭での調理体験など、食育につながるものが多くあると思いますので、今後も、地域の方の指導を受けながら続けていきたいと思っています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

蒲郡市子ども農業教室

蒲郡市

●実施時期：平成 29 年 6～7 月、10～11 月

●対象者：市内全小学 3 年生

●内容

蒲郡市は温暖な気候を活かしたフルーツ栽培が盛んで、特に「みかん」の産地として有名であり、ハウスみかんについては日本を代表する産地のひとつです。

そのため、小学生を対象に、集出荷場の見学やみかんの化粧箱詰め体験又は収穫体験をしてもらうことで、地元のみかんに親しみをもってもらう取組を行っています。

集出荷場では、みかんの選果の様子を見学し、化粧箱詰め体験として、みかんに実際に触れながら、贈答などに使われる化粧箱を作成しました。



●活動の成果、今後の課題

JA 蒲郡市の協力により、みかんの知識や農業、流通など通常では知り得ないことを学習でき、砥神収穫体験園の協力により、みかん収穫機会を得ることができました。

今回、多くの小学 3 年生に見学、体験の機会を提供したことで、児童、教諭ともに高い評価をいただき、来年度以降も続けて欲しいと要望がありました。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：学校〉

男子自立クッキング

愛西市食育推進専門部会

●実施時期：平成 30 年 2 月 2 日、2 月 13 日

●対象者：市内男子高校生

●内容

今後一人暮らしを始めたとしても、食事の面で自分の健康管理ができる大人を育成するために男子自立クッキングを実施しています。

市内にある高校 3 年生男子を対象にしており、本年度は 48 名の参加がありました。

この事業では、参加者である高校生が作った農産物や地元食材を使った調理実習を行うほか、講義で野菜摂取の大切さやバランスのよい食事選びのコツなどを学んでもらっています。

地産地消と生活習慣病予防の両方に目を向けられる取組となっています。

●活動の成果、今後の課題

高校生は将来に向け自己管理能力を身につける大切な時期であるため、今後は対象を女子生徒にも広げるかどうかを、食育推進専門部会で協議し、さらに充実した事業になるよう検討していく予定です。

〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト

愛知県教育委員会健康学習室、公益財団法人愛知県学校給食会、東海学園大学

●実施時期：平成 29 年 10 月 28 日

●対象者：小学 5・6 年生

●内容

地元の食材や郷土料理を取り入れながら、家族でおいしく食べる「愛であ朝ごはん」の献立づくりや調理を通して、親子で望ましい食生活について一緒に話し合ったり、家族の絆を深め合ったりすることをねらいとしています。

平成 29 年度のテーマは、引き続き「地元の食材や郷土料理を取り入れた家族の愛を感じる愛であ朝ごはん」とし、予選を通過した 10 名の児童が、実際に 60 分間で調理をしました。服部学園理事長の服部幸應先生を始めとする審査員が試食して出来栄を審査しました。

●活動の成果、今後の課題

12 回目となる今回は、応募総数 12,338 点、応募学校数 321 校と広く県内に周知され、中には夏休みの宿題とする学校も出てきました。

優秀献立はリーフレットに掲載し、県内の全ての小学（小学部）5・6 年生に配布して朝ごはんの大切さを啓発しています。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：学校〉

農業理解研修「県民公開講座」現地研修

愛知県立農業大学校

●実施時期：平成 29 年 7 月 21 日

●対象者：小学生親子 13 組 32 名

●内容

一般県民に愛知県の農業の現状を学ぶ機会を提供し、県産農畜産物の利用拡大を図ることを目的に、現地研修「現地で学ぶあいちの農業」を初めて開催しました。

研修は、イチジクほ場見学、JA カントリー見学、手打ちうどん加工実習、産直見学、ナシほ場見学という内容で実施しました。

参考 URL：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/h29kenminkouza-genntikennsyuu.html>

●活動の成果、今後の課題

「子供のためにと参加したが、自らの勉強にもなり、愛知県産に関心を持つ機会となった。」という声など、参加者には大変好評で、本県農業への理解促進、今後の消費活動の変容につながる研修会となりました。

内容は充実していますが、より多くの県民の農業理解を促す必要があると考えています。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

夏休み子ども農業体験教室

幸田町青年農業会議

●実施時期：平成 29 年 8 月 15 日

●対象者：町内小学 4～6 年生

●内容

子供たちが農業や野外活動を実際に体験し、自然に親しむとともに参加者同士の友情を育むこと、及び地元の農畜産物を使って昼食を作ること地産地消を進め、食育の普及を推進することを目的に、農業体験教室を実施しています。

平成 29 年度は JA あいち三河の施設を見学後、町内の農場を訪問し、なす・ぶどうの収穫体験及び地元の農畜産物（豚肉）を使った町内のキャンプ場での昼食のカレーライス作りを行いました。（参加者 30 名）

●活動の成果、今後の課題

小学生にとって、とても魅力的な内容となっているため、毎年定員を上回る応募があり、教室後に行ったアンケートでは、参加者の多くから「楽しかった」という回答をいただきました。

主催が青年農業者（若手農家）ということもあり、小学生との距離が近いのも人気の理由の一つであると考えています。

今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

味噌作り

半田市立高根保育園

●実施時期：平成 30 年 1 月

●対象者：5 歳児

●内容

大豆から味噌ができる不思議を感じ、味わうことを目的に味噌作りを実施しています。12 月末に、昨年度卒園した子供たちを招き、自分たちが仕込んだ味噌を「味噌おでん」として味わってもらいました。

また、在園児にも同じように給食で味わってもらい、卒園生が作ってくれた味噌に興味、関心を持ってもらいました。

1 月には、5 歳児が、茹でてもらった大豆をつぶし、豆糀と塩を入れて団子を作り、容器の中に空気を入れないように詰めていく経験をしました。

●活動の成果、今後の課題

グループの友達と協力して大豆をつぶしたり、団子づくりをしたりと興味を持って取り組みました。来年、小学 1 年生になって「味噌パーティー」で食べられることを楽しみにしています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域〉

食育講座

田原市

野菜等の魅力を子どもたちに知ってもらうため、市内の保育園 6 園において、野菜ソムリエの組織「ベジエール渥美」による食育講座を実施しました。

講座では、野菜に関するクイズやゲーム、絵本の読み聞かせを行い、野菜を使った簡単なおやつを紹介し、園児たちに試食してもらいました。

講座の結果、家庭でも「食」について話をするようになり、野菜を食べるきっかけとなりました。

また、専門知識を持つ「ベジエール渥美」と連携することで、活動内容に深みが増し、参加者からも好評でした。

今後も、講座の内容等を工夫しながら取組を続けていきます。



親と子の栄養教室

江南市保健センター

江南市では、夏休みに小学生を対象とした「親と子の栄養教室」を開催しています。この教室は、食に関する話と調理実習を通して食への意識を高め、豊かな食生活に繋げることを目的としています。

平成 29 年度は、主食の大切さについて学び、調理実習では手作りうどんにチャレンジしました。また、旬の野菜を使ったゼリーの提供や、ゼリーに何の野菜が使われているのかを試食して当ててもらったクイズも行い、計 24 組 53 名の親子に参加いただきました。

参加した子供たちからは、「楽しかった。」、「家でも作ってみたい。」、「苦手な野菜が食べられた。」等の感想が得られ、食への意識を高められたように思います。

課題は、対象が小学 1 年生から 6 年生と幅広く、調理の技術・知識に差があるため、全学年が理解できるような内容作りが必要だと考えています。

平成 29 年度親子料理教室

あま市学校給食センター

調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めさせること、及び、児童が保護者と一緒に調理をすることで、家庭での食に対する関心を高め、児童に家族の一員としての意識を向上させることを目的として、給食での人気献立や家庭で簡単に作ることができる料理を題材とした親子料理教室を実施しました。

栄養教諭が講師となり、給食の人気献立である麻婆豆腐や、旬の夏野菜を使用した和え物と汁物、子供が楽しく作れる白玉団子が入ったフルーツ白玉を、合計 2 日間、各日 12 組の親子が調理・会食しました。

参加者からは「子供にも分かりやすい説明で自分から進んで取り組むことができよかった」という声がありました。また、95%の方から「期待していたとおりの内容でよかった」と回答があるなど、たいへん好評の企画になりました。

学校行事、栄養教諭の出張、施設の借用等を考慮すると日程調整が困難なため、希望者全員が参加できる回数を開催できない点が課題です。



夏休み親子魚料理教室・一般市民魚料理教室

蒲郡市漁協女性部連絡協議会

蒲郡市漁協女性部連絡協議会（漁師の奥様達）の指導により、毎年2回、蒲郡特産の魚を使用した魚料理教室を実施しています。

そのうち1回は小学4～6年生とその保護者を対象とする親子お魚教室として、夏休み期間である8月8日に開催しました。もう1回は市民を対象として10月17日に開催しました。

漁師の奥様達から丁寧に優しく教えてもらえるので、毎年参加希望者が多く、特に、親子魚料理教室は抽選で参加者を決定する年が続いています。

アンケート結果も、「美味しかった。」、「魚料理に興味があった。」、「家でも作りたい。」という意見が多く、水産物の地産地消、食育に貢献している事業となっています。



親子工場見学会

公益財団法人愛知県学校給食会

この取組は、学校給食に使用されている食材がどのようにして製造されているかを学習し、学校給食への理解と食への関心を高めるために実施しています。

平成29年度は学校給食で毎日飲んでいる牛乳について学習するため、県内の小学生親子15組30名の参加者が愛知牧場と明治なるほどファクトリー愛知へ行き、牛の乳搾り体験や牛乳の製造工程を見学しました。

愛知牧場では、乳搾り体験や飼育員からの牛の一生の話など、命の恵みと感謝の心を育むことができました。明治なるほどファクトリー愛知では、製造ラインを見学し、工場の徹底した衛生管理をはじめ、牛乳の栄養や特性について体験を通じて学ぶことができました。



野菜の栽培とクッキング

北名古屋市立保育園

北名古屋市立の保育園では、園内の畑やプランター及び近隣の畑を利用し、各学年に合った野菜を栽培し、成長を楽しんだりしています。成長に合わせ、子供たちもだんだん興味が出てきて、図鑑などで栽培方法を調べたりすることで、学習や意欲につながっています。また、地域の方の畑を利用している園では、育て方の指導を受けたり、地域の方が植えた芋の収穫をさせてもらったりと、地域の方とのつながりを持ちながら収穫の喜びを感じられています。

また、収穫した野菜を使って、カレー、鬼まんじゅう、ピザ、野菜汁など、簡単に調理できるもので、楽しく食べられるものへ、子供たち自身で調理する機会を用意し、達成感や自信を持ってもらうことができます。

苦手な野菜もみんなと一緒にクッキングすることで口にすることができるようになったり、苦手だったものが好きになったりと成果が見られています。また、カット野菜しか見たことがない子供もいるので、いろんな野菜の種類を知る機会にもなっています。

アレルギー児が増えているので、クッキングにおける対応が今後の課題です。

郷土の伝統野菜「大根を作ろう！！」

特定非営利活動法人 Earth as Mother

地元の耕作放棄地を借り、愛知県の伝統野菜である「方領大根」「宮重大根」を種まきから収穫まで、自ら生産し、農業に親しんでもらう農業体験を3回シリーズ（①畝づくりと種蒔き、②大根の間引き菜、③大根の間引き収穫）で開催し、合計47名に参加していただきました。

種まきは大雨、間引きは台風接近による風雨という大変な農作業の中でしたが皆で協力して体験を行いました。最後の間引き収穫では良い天気にも恵まれ、生産や収穫する喜びや感動を実感していただくことができました。

初めて農業体験をされる方が多く、親子や夫婦、友人と一緒に、除草剤や農薬、化学肥料を使用しなくても美味しい作物ができることを学んでいただきました。



さつまいも作り体験

武豊町農業委員会

武豊町では、農業体験を通じた食の教育を目的として、農業委員会主催で保育園児を対象にしたさつまいも体験を行いました。町内2か所のほ場において、5月下旬に苗植え、9、10月に芋掘り収穫を行い、収穫したさつまいもを各保育園等で味わいました。

体験を通じ、子供たちはさつまいもがどのように栽培されるのかを学びました。また、自分たちが収穫したさつまいもを食べることで、農産物に親しみを持ち、食への意識が高まりました。



地産地消でイタリア料理をつくろう

西尾市

はじめに、地元生産者で野菜ソムリエの方から「挨拶から始まる食育・いただきます。ごちそうさまの意味」を説明していただきました。

その後、西尾のお茶を使って、プロの料理人から「茶ノベーゼパスタ」と魚を下ろすところから始める「アクアパッツァ」の作り方を学びました。また、家庭でもできるプロのちょっとしたコツを教えてもらいました。

食育について、普段、子供に話をする内容を大人に伝えることにより、いつもの当たり前をもう一度考え直す良い機会になりました。



なんてたって なんぶばたけ！

東郷町立南部保育園

保育園の目の前にある地域の方の畑を利用して、幼児組園児（68名）が野菜等を栽培しています。

野菜の生育に興味を持ってもらうため、種まきから収穫まで、成長の時々畑を覗き、水やりや草取りなど年齢に応じた取組をしています。また、地域の方がサツマイモの苗を植える際には、耕うん機で畑を耕す様子を注意深く見たり、肥料のやり方や間引きの仕方も教えてもらっています。

収穫した野菜は年齢に応じて、調理し、園全体で味わっています。

地域の方や父母の役員さんも参加されての取組であったことから、様々な方の協力によって野菜ができていることを知る機会になったと思います。

今後も、同様の取組を継続していきたいと考えています。

3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

保育園児を対象とした食育の取組	
東郷町給食センター	
●実施時期：平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月	●対象者：3～5 歳の児童
<p>●内容</p> <p>園児一人一人が適切な食生活を送ることができるよう、町立保育園の各クラスに出向き、朝ごはんを食べる大切さや給食に使われる食べ物の働きなど、年齢に応じた内容で話をしました。</p> <p>年度の後半には「箸について」をテーマに取り上げ、給食や家庭で上手に箸を使えるよう、ゲーム感覚で豆をつまむ練習をしました。指導後は、園児と一緒に給食を食べ、残さず食べられるよう声をかけたり、正しい食器の置き方を指導したりしました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>平成 29 年度から新しく取り入れたエプロンシアターを使った指導は、子供たちの興味・関心を引くことができました。</p> <p>平成 30 年度以降は、保育園が作成する食育指導計画とあわせながら、給食センターの指導内容を検討していきたいです。</p>	
〈取組項目：子供に対する食事作法の習得〉	〈取組場面：保幼〉

栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会	
愛知県農業協同組合中央会	
●実施時期：平成 30 年 2 月 3 日	●対象者：栄養教諭・学校栄養職員
<p>●内容</p> <p>JA 愛知中央会では県下の栄養教諭・学校栄養職員を対象に、生産者、JA と学校との連携を構築すると共に、広く学校関係者の食農教育への理解醸成を進めるため、生産現場の視察等の研修会を実施しています。</p> <p>平成 29 年度は、JA あいち知多管内の知多市の小松菜圃場を見学し、JA を通じた地元学校、給食センターとの期間・年間契約の取組、高品質で年中安定した生産・出荷状況を視察しました。また、大府市の国産大豆を 100%使った納豆工場も見学しました。</p>	
<p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>参加者からは「JA、生産者と学校関係者がお互いに協力することで、学校給食を充実できるきっかけづくりになる。」「知多管内では学校給食の様々なニーズに対応していることに感心した。」との意見をいただきました。</p>	
〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉	〈取組場面：学校、地域〉



地場産物料理講習会

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成 29 年 8 月 23 日

●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

●内容

学校給食における地場産物の利用割合や県産食材の種類を増やすため、献立作成を行う栄養教諭・学校栄養職員を対象に新しい取組として開催しました。

愛知県の伝統野菜や伝統調味料に詳しい日本料理「一灯」の長田料理長を講師に迎え、24名の栄養教諭・学校栄養職員が参加しました。

内容は、地場産物である愛知の伝統野菜や伝統調味料を使用した調理実習と「食文化を支えてきた愛知の伝統野菜と伝統調味料」と題した講義を行いました。



●活動の成果、今後の課題

参加者からは、「野菜に合う調理法や地元の調味料について詳しく学ぶとともに、伝統野菜のおいしさを体感でき、児童生徒に愛知の野菜について伝えていきたい」等の感想をいただきました。

献立作成や食育指導に役立つ講習会となり、栄養教諭・学校栄養職員のさらなる資質の向上を図ることができました。



〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

刈谷市産の食材を使用した献立の実施

刈谷市学校給食センター

●実施時期：平成 29 年 9 月、11 月、平成 30 年 1 月

●対象者：市内小中学校の児童生徒

●内容

9月の取組では、刈谷市産の巨峰を献立に取り入れました。11月は、給食週間中に配布するリーフレットを通じて、地元産食材を紹介し、刈谷市産の食材を使った料理として、里芋を使った「八杯汁」、「味噌汁」、大根を使った「大根と豚肉の煮物」、しいたけを使った「愛知とハンバーグのおろしソースかけ」を提供しました。1月は刈谷市産の里芋を郷土料理の「煮味噌」に使用したほか、刈谷市産の白菜、きゅうり、切り干し大根を献立に取り入れました。

●活動の成果、今後の課題

給食での使用により、とれたての「おいしさ」を感じることができ、地産地消の良さを紹介することができました。また、リーフレットを配布することにより、地元産食材について伝えることができました。

課題として、継続的に地元産食材を使用する方法の確立や使用量の確保が難しく、頻繁に使用できないことが挙げられます。

〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校、地域〉

生産者と児童生徒の交流

大治町

●実施時期：平成 29 年 5 月～7 月、平成 30 年 1 月

●対象者：児童・生徒

●内容

大治町内の小中学校では月に数回、大治町地産地消学校給食会(以下、町給食会)の方々が栽培した野菜を学校給食に使用しています。6 月の「愛知を食べる学校給食の日」の前後には、各校の給食委員会の児童生徒が、校区内の町給食会の方々の畑を見学し、農業に関する話を聞いたり、収穫体験をさせてもらったりしました。畑の見学で学んだ内容や感想をたよりや掲示物、集会、給食放送などを活用して、全校児童生徒及び保護者に知らせました。



また、小学校では1月の全国学校給食週間中の給食時間に、町給食会の方々を招いて会食をしました。町給食会の方々には児童との会食とともに、野菜についての話や児童からの質問に答えていただきました。



●活動の成果、今後の課題

畑見学や会食を実施し、児童生徒が生産者から直接話を聞くことで、地域の野菜や生産者を身近に感じることができました。また、継続して実施することで『地産地消』ということばが定着してきました。

より多くの児童生徒が生産者と直接関わることができる機会を設けることが今後の課題です。

〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

西尾市観光協会食部会による食育講座

西尾市

●実施時期：平成 29 年 9 月 19 日から

●対象者：市内小学生

●内容

西尾市観光協会食部会への委託事業として、市内飲食店等が市内 6 小学校で食育の出前授業を実施しました。うなぎコロッケ、県産きぬあかりを使用したうどん、西尾の茶葉を使用した茶ノベーゼパスタ、地元野菜を使った朝食、うなぎの手巻き寿司、いちご大福を児童と一緒に作りました。また、保護者と一緒にできるようにレシピも配布しました。



●活動の成果、今後の課題

外部講師が授業を実施することにより、普段体験できない調理実習ができ、地元の農産物等を理解することができる大変良い機会でした。今後は、もっと実施校を増やしていけるように、PR していきたいです。



〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

味噌を通じて豊田地域の食文化を伝承～味噌蔵 ひとなる祭～

合資会社野田味噌商店

●実施時期：平成 29 年 5 月 27 日

●対象者：市民

●内容

味噌を通じて豊田地域の食文化を伝承するため、国の「地域の魅力再発見食育推進事業」を活用し、約 400 本の木桶が置かれた味噌蔵で「味噌蔵 ひとなる祭」を開催しました。

当日は、①映画「その後のなちちゃんのみそ汁 GIFT」及び「いただきます みそをつくるこどもたち」の上映、②映画監督である太田敏氏の講演、③100 人での味噌仕込み体験を行いました。(当日出席者：100 名)



●活動の成果、今後の課題

参加者からは「味噌蔵に初めて入った。木桶の大きさに驚いた。」「味噌作りに興味があり参加した。自宅でも挑戦してみたい。」「食の大切さを実感した。今夜は子供に味噌汁を作ってあげたい。」という感想が聞かれ、味噌の魅力と豊田地域の食文化を新たに発見してもらう機会になりました。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

“だしと和食”をテーマにした食育啓発

大口町

●実施時期：平成 29 年 11 月

●対象者：町民

●内容

健康おおぐち 21 第二次計画に基づき、住民全体への一貫性のある食育を目的とし、ライフステージを超えて乳幼児から高齢者に関わる各部署で周知啓発を行いました。

小学校や保育園では、各部署の栄養担当者が和食給食の日を設け、給食日より和食のコラムを掲載し、だしや和食についての話をしました。地域では、健康まつりにおいて、だしの試飲（飲み比べ）や食に関わるクイズを行い、パネルの設置をすることで周知啓発をしました。

●活動の成果、今後の課題

だしの試飲では、高齢者は、昔の記憶からだしを取った方が美味しいと感じられるようでしたが、普段から顆粒だしを口にかけている子供は、慣れている顆粒だしが美味しいと感じるようでした。

子供の頃の味覚形成が成人になった後にも影響することから、乳幼児期からの食生活の大切さについて保護者への周知啓発に取り組みます。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

あいち食育いきいきシンポジウム、郷土料理講習会の開催

愛知県食育消費流通課

●実施時期：【シンポジウム】平成29年8月3日、【郷土料理講習会】平成29年8月24日、9月7日

●対象者：愛知県食育推進ボランティア等

●内容

県は、郷土料理等地域の食文化を保護・継承していくため、昨年度に作成した『レシピ50選』を活用して、愛知県食育推進ボランティア等を対象に、郷土料理を中心とした地域の食文化の理解を促し、次世代への継承を考えるシンポジウム及び郷土料理講習会を開催しました。

シンポジウムでは、『レシピ50選』編集に携わっていただいた名古屋文化短期大学の鳥居久雄教授による基調講演や、食育推進ボランティアや岡崎市食育担当者、小学校栄養教諭、学生の4名によるパネルディスカッション、食育活動表彰者による優良活動事例紹介を行いました。

郷土料理講習会では、鳥居教授を講師に迎え、「かしわのひきずり（味噌味）」「酢味噌そうめん」「とうがんのくず煮」「とうがんとごま酢和え」「鬼まんじゅう」の5品を実習しました。

●活動の成果、今後の課題

シンポジウムには202名の参加があり、「郷土料理の話は興味深く、団体の研修会でも講演して欲しい。」「今後の食育活動の参考になった。」との感想が聞かれました。また、終了後に行ったアンケートでは、92%の方から「基調講演が参考になった。」、89%の方から「食文化継承の意識が高まった。」と回答がありました。

郷土料理講習会には48名の参加があり、「味噌味のひきずりを初めて食べたが、甘口なので子供たちも喜びそう。」「とうがんのワタは今まで捨てていたが、ごま酢和えは大変おいしかった。」といった声が聞かれました。また、アンケートでは、94%の方から「参考になった。」と回答がありました。

食文化の継承について改めて考える機会となり、今後、県内各地域で若い世代へ伝承していただくことを期待しています。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

茶育教室

愛知県園芸農産課

●実施時期：平成 29 年 11 月 9 日

●対象者：県民

●内容

県産茶の魅力を伝え、茶のある豊かな生活を提案し、本県茶産業の振興及び日本の伝統文化の浸透を図るため、名古屋栄三越で行われた「あいちの農林水産フェア」の主催者企画イベントスペースにおいて、日本茶インストラクターを講師として好みに応じたお茶の淹れ方教室を実施し、78 名の方に参加いただきました。



県品評会出品茶のかぶせ茶を 2 段階の湯の温度で淹れ比べた後、普通煎茶や玄米茶も茶葉にあった湯温で淹れ分け、好みの味を探して、アンケートをとりました。

●活動の成果、今後の課題

お茶の葉の種類、お湯の温度で、お茶の味が大きく異なることを実感していただきました。「自分の好みのお茶」を知り、それを飲むために「自分で淹れる」という行動へつなげるきっかけ作りができました。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

小学生宮重大根栽培収穫体験

清須市

●実施時期：平成 29 年 9 月～12 月

●対象者：清須市立春日小学校 3 年生の児童

●内容

「宮重大根」を栽培することで地域の伝統野菜を学習する機会を作るとともに、農作業を通じ野菜や畑に親しみを持つとともに感謝の心を育むことを目的に実施しています。

平成 29 年度は、春日小学校内の畑において、管理指導を「清須市春日宮重大根純種子保存会」が行う形で実施しました。

収穫した「宮重大根」は児童が各家庭に持ち帰りました。

●活動の成果、今後の課題

伝統野菜の「宮重大根」を地域の児童が栽培することで継承する機会となっています。

また、持ち帰ることにより各家庭でも「宮重大根」を知る機会となっています。

〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

食文化の保護・継承のための調理体験等の実施

岡崎市

●実施時期：平成 29 年 11 月 18 日、19 日

●対象者：市民

●内容

岡崎中央総合公園で開催された JA まつりにおいて、食育総合展示会として第 3 次岡崎市食育推進計画のシンボルプロジェクトである「おかざき食育やろまいプロジェクト」の啓発、また、岡崎の食文化の保護・継承のため、郷土料理である味噌田楽作り体験を実施しました。

味噌田楽作り体験では、参加者がこんにゃくを型抜きし、焼印、串を刺して鍋で温め、岡崎産のなすを切ってからホットプレートで焼き、こんにゃくとなすに味噌だれをかけて味噌田楽を食べました。また、味噌田楽を始めとする岡崎の郷土料理やこんにゃく、なすの普及啓発展示も実施しました。

●活動の成果、今後の課題

味噌田楽作り体験を行い、岡崎の郷土料理を知って味わっていただく機会としました。

同時に実施した食育に関するアンケート調査結果において岡崎の郷土料理の認知度が低いことから、今後も啓発していく必要があります。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

押し寿司づくり体験コーナー

尾張旭市

本市の地域ブランド「押し寿司」の普及のための取組の一環として、尾張旭市民祭にて、押し寿司づくりを疑似体験できるコーナーを設置しました。

当日は悪天候の中、子供たちをはじめ、たくさんの方が押し寿司づくり疑似体験に挑戦しました。

「かつてハレの日に押し寿司振舞う文化があったということ」、「押し寿司づくりは楽しいということ」を知ってもらう機会となりました。



地元産野菜の販売

小牧市、小牧市野菜（そさい）研究会

小牧市野菜研究会の会員が生産した地元産野菜の販売を、市内で開催されるお祭りで行っています。特に、毎年 10、11 月の出店の際には、小牧の伝統野菜である「えびいも」の販売も行っています、

新鮮で美味しい地元産の野菜は人気が高くリピーターが多く、地産地消や地元の伝統野菜のすばらしさ、地元の食文化について伝えられています。

小牧市野菜研究会のメンバーの高齢化や天候によって出品数が左右されることが課題です。





食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

「もったいない」の心を持って、食べ残しを減らしたり身近な地域でとれる農林水産物を積極的に活用する地産地消を進めるなど、食べ物の消費と生産の両面から、環境への配慮に取り組みました。

1 食生活における環境への配慮の徹底

環境学習出前講座

瀬戸市

●実施時期：平成 30 年 2 月 28 日

●対象者：保育園児と保護者

●内容

八幡保育園と連携して、幼少期からごみに対する意識を育むことを目的とした出前講座を開催しました。当日は資源リサイクルセンター職員が「食べ残しをしない」ことを主眼においた紙芝居の読み聞かせなどを実施するとともに、リサイクルの様子を示した変身ボックス（牛乳パック→トイレットペーパー、ペットボトル→服）やごみ収集車へのごみ投入体験を行いました。



●活動の成果、今後の課題

当日は保育園児、保護者あわせて 80 名の参加でした。参加した園児たちは飽きることなく楽しそうに聞いたり、発言していました。

今後も市内保育園、幼稚園と連携して「食べ残しをしない」といった観点での出前講座を実施していきたいと考えています。



〈取組項目：環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践〉

〈取組場面：地域〉

親子で作ろう！エコ・クッキング講座

刈谷市

●実施時期：平成 29 年 6 月 24 日

●対象者：市内在住小学生以上の親子

●内容

エコ・クッキングとは環境のことを考えて買い物、料理、片付けをすることです。エコ・クッキングのポイントを紹介しながら実際に料理・片付けをしていただくことで、環境問題についての意識向上を図り、毎日の生活で実践してもらうことを講座の目的としています。

※エコ・クッキングは東京ガス（株）の登録商標です。

●活動の成果、今後の課題

食材を丸ごと使うことや、洗い方等のエコ・クッキングのポイントを参加者が学ぶことができ、今後の生活に生かしていただけたと思います。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

あいちエコ食スタイル研修会、調理講習会の開催

愛知県食育消費流通課

●実施時期：【研修会】平成29年11月2日、【調理講習会】平成30年2月7日・15日・26日・27日

●対象者：愛知県食育推進ボランティア、愛知県消費生活モニター等

●内容

無駄や廃棄の少ない食生活について学んでいただくため、「あいちエコ食スタイル研修会（以下「研修会」という。）」及び「あいちエコ食調理講習会（以下「調理講習会」という。）」を開催しました。

研修会では、はじめに、愛知工業大学の小林富雄教授から、基調講演「食育と食品ロス」として、「欲しいものが無かった店からは消費者が離れてしまい、競争に勝てなくなる。そのため、過剰に仕入れるというビジネスモデルが採用されている。」等、消費者の心理・行動が食品ロス発生の原因の一つであるという話や、「食に対する畏敬の心を持つことが大切」といった食育の目線からの食品ロス削減の心構え等についてお話しいただきました。

次に、管理栄養士でもある至学館大学の伊藤正江准教授から、講演「野菜まるごと栄養学」として、買い物から片付けまでの全体を通して野菜を丸ごと使い切るためのポイント・メリットや廃棄する部分の活用方法などについて、具体事例を挙げながらお話しいただきました。

調理講習会では、公益社団法人愛知県栄養士会の竹内和子氏の指導のもと「野菜の皮ごとクリーム煮」、「ブロッコリーの茎カレーきんぴら」等、生ごみの発生量が通常の1/10程度となる環境に優しいメニュー5品の調理実習を行いました。その後、栄養士会の渡邊薫氏から「食品ロスを減らしましょう」と題し、各生活場面において食品ロスを出さないためのポイント等について講話を行いました。

●活動の成果、今後の課題

研修会の参加者からは「想像以上に食べ物が捨てられていることがわかり、びっくりした。」「今回学んだ内容を早速実践したい。」といった声が聞かれ、食品ロスについて改めて考える機会となりました。

調理講習会の参加者からは「これまで知らず知らずのうちに無駄にしていたものがこんなにあったのかと気付かされた。」「今回学んだ料理を地域での料理教室で紹介したい。」との声が聞かれました。

今回の研修会及び調理講習会をきっかけとして、食品ロス削減の意識が浸透し、実践につながることを期待しています。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

「食品ロスを知っていますか？」チラシ作成・配布

安城市

●実施時期：平成 29 年 6 月中旬

●対象者：市内公立幼・保育園、私立保育園の保護者

●内容

毎年 6 月は食育月間であることを周知し、食育の一層の推進を図ることを目的として、食育に関するチラシを作成しました。

平成 29 年度は食品ロスを取り上げ、食品ロスとはどういったものか、家庭でできる食品ロス削減術や安城市で食品ロスに取り組んでいる団体の紹介を掲載しました。また、チラシを市内保育園等の保護者約 5,000 名に配布しました。

●活動の成果、今後の課題

食品ロスを事業者の問題としてだけでなく、家庭でも削減できる身近な問題として、捉えていただくことができました。今後も、市民に積極的に活用していただける内容を掲載していきたいと思ひます。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

エコアクション推進フェアの開催

愛知県環境活動推進課

●実施時期：平成 29 年 11 月 18 日、19 日

●対象者：県民

●内容

環境に配慮した食生活の実践など、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」を県民の皆さんが取り組んでいただくきっかけとなるよう、参加型の環境イベントを開催しました。

大村知事とフィギュアスケーターの浅田舞さんのトークショー、環境戦隊ステレンジャーによるヒーローショーと清掃活動イベント、地元アイドルグループのパフォーマンス、環境活動に取り組む団体・事業者の展示・ワークショップなどを行いました。

●活動の成果、今後の課題

2 日間で約 29,000 人の方に御来場いただき、楽しみながら「エコアクション」への理解を深める体験をしていただきました。

更に多くの県民の皆さんに「エコアクション」に取り組んでいただけるよう、多くの主体と連携しながら魅力のあるイベントにしていきたいと思ひます。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

食品ロス削減に向けた取組（地域の魅力再発見食育推進事業）

岡崎市

食事ができることに感謝の念を持ちつつ、食料資源の浪費や環境への負荷の増加にも目を向け、食べ物を無駄にしない「もったいない」という意識の浸透を図るため、食品ロス削減に向けた取組を行いました。

事業者向けの取組として、飲食店における食品ロス削減の取組の実態を把握するために調査・検討を行ったほか、飲食店向けの啓発資料を作成し、配布しました。

また、家庭においても食品ロス削減を推進するため、おかざき健康・食育だより「まめ吉通信」夏号に食品ロス特集を掲載したほか、食品ロス削減普及啓発ポスターを作成し、保育園、こども園、幼稚園、小中学校及び飲食店等に配布しました。

せと環境塾「環境にやさしい親子料理教室」

瀬戸市

親子で楽しく料理をしながら、食材を無駄にしない料理法や地産地消について学べる料理教室を開催しました。

当日は、瀬戸市ごみ減量推進会議の服部氏を講師に迎え、春キャベツを丸ごと1個食べきることをコンセプトに、キャベツの芯まで使い切る調理実習を行いました。参加者は親子5組10名でした。



事後アンケートでは「野菜は捨てる部分が多いためこのような機会意識を改めることができた。」「料理を作る楽しさと食材を使い切る事の大切さを同時に学ぶことができた。」といった回答をいただき、食品ロス削減に対する意識を持ってもらう機会になりました。

平成30年度も同様の取組を継続していきたいと考えています。



2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

農地・水・環境のつどい		愛知県農地計画課
●実施時期：平成 29 年 11 月 23 日	●対象者：県民	
<p>●内容</p> <p>農業・農村のいろいろな働き「多面的機能」は、農業を営むことによってその力を発揮します。愛知県では「多面的機能」を守るため、草刈りなどの維持管理や自然環境保全に取り組む地域の活動組織を支援しています。</p> <p>その一環として、活動組織間の情報交換や、一般の方への理解促進を図るため、表彰会を開催しました。優れた活動を行った組織に対し、知事からの表彰や、優良事例の発表・パネル展示を行いました。当日は、県内各地で活動に取り組む約 500 名の方に参加していただきました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>活動組織のモチベーションを高めるとともに、優良組織の活動内容を紹介することで今後の参考になるばかりでなく、他の組織の活動の質の向上に繋がっていると考えています。今後も継続してこのようなイベントを開催し、地域の共同活動を活発にしていくとともに、より多くの県民に啓発していきたいと思ひます。</p>	 	
〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉		〈取組場面：地域〉

尾張地域いいともあいち地域サロン交流会		愛知県尾張農林水産事務所
●実施時期：平成 29 年 12 月 26 日	●対象者：丹莸地区の小中学校の栄養教諭・学校栄養職員、生産者	
<p>●内容</p> <p>学校給食へより地元産食材を取り入れてもらい、地元産食材を通して児童生徒に地産地消への関心を高めてもらうためのきっかけづくりとなることを目的とし、地元産食材を使用した料理を試食しながら、学校給食への地元産食材の導入促進や、児童生徒への食に関する指導などについて意見交換を行いました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>参加者からは、「レシピ、農産物等、給食に取り入れていきたいと思ひます。」との感想や、今後も継続的な情報交換をしたいとの要望があり、農協担当者と連絡先を交換するなど、学校給食への地元農産物の導入や、食農教育の促進につながる交流の場となりました。</p>	 	
〈取組項目：子供に対する地産地消の理解と利用の促進〉		〈取組場面：学校〉

産学官連携事業 安城梨の消費拡大に繋がるレシピ開発とその普及活動

安城市農畜産物特産品協議会

●実施時期：平成29年7月～平成30年2月

●対象者：市民等

●内容

愛知学泉大学家政学部の学生及び関係各所と協働し、安城市の特産品である梨の新商品開発に向けた取組を行いました。JA あいち中央提供の冷凍梨ペーストを有効活用し、梨の風味や食感を活かしたジャム「ラブチュール」と漬け込み等にも幅広く使える「手間“梨”ドレッシング」の2品を学生主体でレシピ化しました。

完成したレシピは、JA まつり等の各種イベントで試食提供を行いながら通年で利用できる梨の新しい食べ方としてPRした他、地域の産直施設等で販売していただくことを目指し、JA あいち中央に特産品を使った新商品として提案しました。

●活動の成果、今後の課題

学生の柔軟な発想とJA あいち中央の協力のもと、収穫期の関係で過去に取組対象にできていなかった梨の新しい消費法を考案し、広くPRできました。一方、新商品提案は行ったものの、コスト等の観点から実際に商品化に至るかは未知数です。今後、新商品開発を目指す場合は、活動の終着点とその時期を予め考慮し進めていく必要があると感じました。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

たべりんとよはしスタンプラリー

豊橋市

●実施時期：平成30年1月22日～3月11日

●対象者：消費者

●内容

豊橋市地産地消推進事業補助金による事業の一環として、豊橋産農産物を使った地産地消メニューを取り扱う市内の飲食店及び販売店を3店舗めぐるスタンプラリーを、株式会社サイエンス・クリエイトと共催により開催しました。和食や中華、洋菓子などさまざまなジャンルの飲食店及び販売店など44店舗が参加しました。3店舗分のスタンプを集めた応募用紙に必要事項を記入し応募すると、抽選で豊橋産農産物やその加工品（黒潮牛、日本酒、緑茶など）、参加店舗の食事券を景品としてプレゼントしました。

●活動の成果、今後の課題

参加店舗にとってはスタンプラリーの開催により新規の客の来店につながり、地産地消で商売繁盛につながることができました。また、株式会社サイエンス・クリエイトと共催で行ったことにより、同社のもつネットワークにより地産地消に関心をもつ飲食店等との関係づくりができました。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

産地直売所の交流機能強化を推進

愛知県農業振興課

●実施時期：平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月

●対象者：モデル直売所、県民

●内容

産地直売所は、生産者にとって所得確保のため重要な販売拠点であるとともに、生産者と消費者を結ぶ地産地消の交流拠点となっており、地域の活性化に大きな役割を果たしていることから、生産者及び消費者にとって魅力ある直売所の運営が重要な課題です。

平成 28 年度は都市近郊地域の直売所をモデルとして、需要拡大及び供給力充実等に関する取組のマニュアル作りを行い、平成 29 年度は、平地農村地域において、マニュアル等を活用する直売所を支援し、課題解決に向けた実証を行いました。

1 実証直売所

- ・ファーマーズマーケットでんまあと安城西部（安城市）
- ・JA あぐりパーク食彩村（豊橋市）

2 事業内容（JA あぐりパーク食彩村の場合）

（1）課題発見の視点習得

- ・生産者、従業員、利用者を対象とした現状に関する聞き取り調査
- ・従業員を対象としたワークショップの開催

（2）情報発信の視点習得

- ・生産者、従業員を対象とした POP（レシピ）コンテスト開催
- ・生産者用 POP（レシピ）マニュアルの作成・配布



●活動の成果、今後の課題

産地直売所での実証内容をマニュアルとしてまとめることができました。

事業成果の他直売所への普及が今後の課題です。

〈取組項目：直売所における生産者と消費者の交流〉

〈取組場面：地域〉

あいちの農業用水展

愛知県農地計画課

木曽川、矢作川、豊川という三大河川を水源とした県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうために、「水の週間」の関連行事として実施しました。

平成 28 年 11 月に「世界かんがい施設遺産」に登録された明治用水の登録周年祭と併せた企画とし、アンフォーレ（安城市）にて開催しました。

3 日間合計で約 1,800 名の方に参加していただき、水の大切さや明治用水の歴史について学んでいただきました。

期間中に実施したアンケートでは、「用水について知ることができた」、「水を大切に使いたい」などの感想をいただいております、今後とも継続してこのようなイベントを開催していく必要があると考えます。



山里美味展示会

愛知県新城設楽農林水産事務所

いいともあいちネットワーク会員の製品や「いいともあいち運動」に対する県民の認知度を上げるとともに、地産地消の推進を目的としています。

本取組は第 19 回 JA まつり & 山と水と緑の協同組合まつりにて実施し、新城設楽地域の農産物を使用した加工食品を展示して紹介するとともに、いいともあいち運動のパンフレットを配布して、県民に対して地産地消運動の認知度向上を図りました。

イベントに訪れた一般客のうち約 30 名の方に、農政課展示会ブースをご覧いただき、地元の農産物や加工品を紹介することができました。

また、展示品の特徴や取扱店、販売価格などをまとめたチラシを持ち帰っていただきました。



3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

県内における資源管理の促進

愛知県水産課

●実施時期：通年

●対象者：県内漁業者

●内容

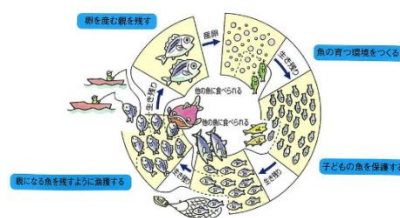
水産資源を有効に利用するため、再生産と漁獲のバランスをとりながら資源を適切に管理することを「資源管理」といいます。

本県では、「愛知県資源管理指針」を定めており、漁業者はこの指針に基づきそれぞれ「資源管理計画」を策定し、定期休漁や、小さな魚を獲らないなどの取組を行っています。

●活動の成果、今後の課題

県内漁業者へ説明を行うなど資源管理の推進を図った結果、平成 29 年度は新たに 3 件の資源管理計画が策定されました。

水産資源は、適切に管理すれば持続的に利用することができる資源です。今後とも県内漁業者と協力し、資源管理を推進していきたいと思えます。



〈取組項目：農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用〉

〈取組場面：地域〉



食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

平成29年度学校給食献立コンクール

公益財団法人愛知県学校給食会、愛知県教育委員会

●実施時期：平成29年7月31日

●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

●内容

栄養教諭・学校栄養職員の学校給食の献立作成力の向上をめざし、学校給食の食事内容の充実を図ることを目的として実施しました。

平成29年度は「地場産物(愛知県産)を活用した魅力ある学校給食」をテーマとし、3部門で募集したところ256点の応募があり、その中から予選を通過した15名が本選に出場し、応募した献立のプレゼンテーション審査に挑み、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、佳作が決まりました。

【最優秀賞】

＜愛知を食べる部門＞

○「嫌われ食材食べ方提案！愛知バランスランチ」（ソフト麺・牛乳・なす入りミートソース・愛知野菜の骨太サラダ・ココア豆）

＜地元の旬を味わう部門＞

○ごはん・牛乳・ハンバーグのたま坊ソースかけ・ふきとじゃこのサラダ・赤ミソストローネ

＜郷土料理を楽しむ部門＞（左下写真）

○かきまわし・牛乳・いなッピーかきあげ・きのこ汁・ヨーグルト
※レシピ等詳細については、愛知県教育委員会又は当財団ホームページ(<http://aigaku.org/>)を御覧ください。

●活動の成果、今後の課題

今年で4年目となったこの取組は、333名の県内栄養教諭・学校栄養職員が参加し、入選者のプレゼンテーションやポスターセッションを見学したりと、受賞者の献立内容について理解を深め、献立作成力の向上や学校給食の内容の充実を図ることができました。

また、入選者15名の入選献立の冊子を作成し、県内の栄養教諭・学校栄養職員へ配布しました。



〈取組項目：保育・教育機関における推進体制の充実〉

〈取組場面：学校〉

尾張地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県尾張農林水産事務所

●実施時期：平成30年1月24日 ●対象者：食育推進ボランティア、大学生、市町職員

●内容

地域における食育活動の実践へつなげるため、「食育」活動に携わるボランティアと大学生をはじめとした関係者が、「食品ロス」のテーマについて意見を交わしながら交流する研修交流会を開催しました。

当日は、名古屋学芸大学の川崎准教授と同大学管理栄養学部の学生から「日本の食料自給率と食品ロスの現状」と題して講演をいただき、その後、小グループに分かれて、食品ロス削減の具体的な方法を考えるグループワークを行いました。（出席者：37名）



●活動の成果、今後の課題

研修会後に行ったアンケートでは、全員が「参考になった」と回答し、自由回答では「自分の生活を見直す機会になりました。」等、生活の中での実践を意識していただくことができました。

今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

みよし市食生活健康推進員養成教室における講演会

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：平成30年1月25日 ●対象者：みよし市食生活健康推進員

●内容

平成29年5月から開催している、みよし市食生活健康推進員養成講座における全体のまとめの講義として開催しました。

「年代別の健康課題と食生活のアドバイス」として、各年代の生活習慣や食習慣の特徴や、支援方法（サルコペニア対策をふまえた低栄養予防の食事指導、中食商品を使った食事指導など）について話をしました。

●活動の成果、今後の課題

事後アンケートとして、「ライフステージごとの食生活のポイントや目標の立て方、提案の仕方などがよくわかった。」「自身の食生活を振り返るきっかけにもなった。」などの感想を頂きました。

〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

食生活改善推進員再教育事業

清須市

●実施時期：通年 ●対象者：清須市食生活改善推進協議会会員

●内容

清須市では清洲地区（にんじん）と西枇杷島地区（とまと）の2つのグループに分かれてそれぞれ月1回定例会を実施しています。

この定例会において、保健師、管理栄養士等が健康づくり、介護予防、病態、栄養について講話を行いました。

また、会員を対象に調理実習を行って減塩や野菜摂取の啓発をしたり、健康づくりリーダーが講師となって運動の実技を実施したりしました。

●活動の成果、今後の課題

再教育を行うことにより、知識の幅が広がり、自信を持って様々な事業を進めて行くことができます。

毎年食生活改善推進員と講座の内容を検討し、より充実した講座内容を実施していきます。

〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

学校で使用する食育教材「愛知県地図タペストリー」の作成

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：通年 ●対象者：県内勤務の栄養教諭・学校栄養職員

●内容

本協議会の研究テーマに、「地場産物を活用しよう」があります。

そこで、平成29年度は、食育教材「愛知県地図タペストリー」を作成しました。タペストリーにより、愛知県内の市町村に地場産物がどこで作られているか、分かりやすく示すことができるようになりました。

栄養教諭・学校栄養職員が、社会科などの授業や給食の時間の指導などで活用することで、児童生徒に地場産物への関心を高め、地域への愛着を深めることを目的としています。



●活動の成果、今後の課題

児童の感想として「愛知県産の食べ物はいっぱいあると分かりました。」「これからは食材に興味をもって、感謝して食べたいです。」などがあり、自分たちの食べている食事が地域で暮らす人によって作られていることに気付き、感謝の気持ちをもつことができました。

今後は、愛知県産の食材カードなどの作成をし、さらに啓発を図っていきたいと思います。



参考 URL：<http://www.aichi-ek.com/>

〈取組項目：食育推進資材の作成や調査〉

〈取組場面：地域〉

望ましい食習慣

清須市

望ましい食習慣や食品アレルギーについて、職員間で十分に確認し合い、安心、安全な食事の提供ができるようにしています。

また、乳幼児期に必要な元気な心と体を作るために望ましい食習慣を身に付けるよう、年齢に応じた目標をあげ、継続して取り組んでいます。

平成 29 年度も、食育を含んだ保育指導計画の作成を通して、職員間で共有し、連携した取組を行いました。

東三河地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県東三河農林水産事務所

第 3 次愛知県食育推進計画の目標の 3 本柱の一つである「豊かな心を育む」取組の一環として、地域に根ざした「愛知の郷土料理」を若い世代にいかにつづけていくかをテーマに、東三河食育推進ボランティア研修交流会を開催しました。

当日は農政課から「私にとっての郷土料理とは」と題した講演を行い、その後、意見交換を行いました。(出席者：22 名)

参加者からは「若い世代も郷土料理に興味はあるが作り方が分からない。」「教えてあげたいが機会がない。」などの意見がありました。

継承していく手段として、「あいちの郷土料理」などのレシピ集の充実を図り多くの方に興味をもってもらうことや、「郷土料理＝手間がかかる」という概念を無くすため、アレンジや見た目などの工夫をし、手軽に作れる料理として伝えていくことが大切だと今回の交流会を通して感じました。



食生活改善推進員養成講座

長久手市

食生活改善や健康づくり等の知識を習得し、「食」を通じた健康づくりや食育のための地域活動を行うボランティアである「食生活改善推進員」を養成する目的で、市内在住で、健康づくりに関心があり、養成講座受講後は自ら進んで地域活動を実践する意欲のある人を対象に、全 3 回の講座を実施しました。

養成講座の結果、平成 29 年度は 11 名の参加者全員へ修了証を授与しました。

今後は、既存の会員とともに、食の健康づくりへの活動を行っていく予定です。

2 関係者の役割分担とネットワークの充実

豊田加茂地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県豊田加茂農林水産事務所

●実施時期：平成 29 年 11 月 15 日

●対象者：食育推進ボランティア等

●内容

食育推進ボランティアと関係者が食育について学び、交流を図るため、豊田市役所内で研修交流会を開催しました。

行政及び農協職員による「愛知県及び豊田加茂地域における食育の取組について」の説明、ボランティアによる模擬講座「1日野菜 350g で体調 good」の体験、あいちの郷土料理レシピ 50 選を活用した「おこしもん」づくりの実習を行いました。(参加者 25 名)



●活動の成果、今後の課題

参加者からは「関係機関それぞれの目標と取組がよく分かった。」「野菜を計量したので、1日に必要な摂取量を実感できた。」「おこしもんは、コツを丁寧に教えてもらい、スムーズに作ることができた。」という感想が聞かれ、食育について学び、交流を深めることができました。

次年度も同様の取組を実施します。



〈取組項目：活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面：地域〉

新城設楽地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県新城設楽農林水産事務所

●実施時期：平成 29 年 12 月 12 日

●対象者：食育推進ボランティア、市町村職員、農業協同組合員

●内容

新城設楽地域で食育活動に取り組むボランティアや市町村の担当職員を対象に、食育に関する研修や、ボランティア同士や他団体、市町村及び県関係機関職員との意見交換の場を設けることで、食育推進活動の充実に図るために研修交流会を開催しました。

当日は、栄養教諭の経験がある農政課職員から「ノロウイルス食中毒を予防しよう!」と題して、ノロウイルスの概要や感染予防について講演を行いました。その後、日々の食育活動についての報告及び意見交換をしました。

●活動の成果、今後の課題

食育推進ボランティア及び、市町村・農協・県関係者による日々の活動報告を中心に意見交換ができました。新城設楽地域では、食育推進ボランティアが高齢のため、今後は若い世代へのボランティア登録の呼びかけが必要です。



〈取組項目：活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面：地域〉

西三河地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県西三河農林水産事務所

●実施時期：平成 29 年 12 月 12 日

●対象者：食育推進ボランティア

●内容

西三河総合庁舎において、西三河地域の愛知県食育推進ボランティアや関係者等 88 名が出席して「西三河地域食育推進ボランティア研修交流会」を開催しました。

講演では、岡崎市食品衛生協会会長（オカザキ製パン株式会社社長）の早川勝博氏から、「学校給食の歴史と愛知県産小麦粉パンの動向」と題して、学校給食の歴史とともに、県内の学校給食における主食の供給状況について説明がありました。

その後、事例発表が行われ、安城市健康づくり食生活改善協議会会長であり、食育推進ボランティアグループ「安城市ヘルスメイト」の代表の黒柳厚子氏から、「健康づくりの輪を広げよう！！」と題し、安城市ヘルスメイトの食育活動が紹介されました。

●活動の成果、今後の課題

管内の食育推進ボランティアが一堂に会し、地域で活躍する方や食育推進ボランティアの活動について学ぶことができました。

今後、ボランティアの活動を促進し、相互連携を図るため、活動状況や要望を把握しながら、内容を充実していきたいと思えます。



〈取組項目：活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面：地域〉

知多地域食育推進ボランティア研修交流会

愛知県知多農林水産事務所

知多地域における食育推進ボランティアの育成及び連携促進のため、行政や関係団体が連携・協力を図りつつ、食育について学び交流を図る活動支援の場として、「知多地域食育推進ボランティア研修交流会」を開催しました。

まず講義として、はじめにコーミ株式会社から『知っていますか？ソースの魅力』と題し、ソースの起源や特長、上手なソースの使い方、減塩のためのポイントなどについて話していただきました。その後、愛知県牛乳協会から『牛乳の短くて長い旅 ～牛乳を見つめ直す～』と題し、牛乳が持つ機能、健康な骨、牛乳・乳製品の摂取量比較などについて話していただきました。

講義の後、ボランティア同士の情報交換等を行いました。

食品メーカーと、畜産関係者から、「食」に関する専門的な知識をいただき、今後の食育活動を進める上で有益な機会になりました。



3 いいともあいち運動の推進

いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県食育消費流通課

●実施時期：通年

●対象者：県民

●内容

愛知県版地産地消の取組でもある「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しています。

平成 29 年度は、シンボルマークのシールを作成し、より手軽に商品パッケージ等へ貼付していただけるよう PR しました。

また、県の Web サイト「いいともあいち情報広場」にシンボルマークを貼付した商品の情報を掲載し、広く県民に PR しました。

●活動の成果、今後の課題

平成 29 年度は、県産で収穫後 3 日以内の完熟トマトを 100% 使用したトマトケチャップや三河産そば粉を使用したむらさき麦そばなど、新たに 102 商品にシンボルマークが貼付されました。

今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の定着促進〉

〈取組場面：地域〉



いいともあいちフェア即売会in東三河

愛知県東三河農林水産事務所

●実施時期：平成30年2月9日～12日

●対象者：県民

●内容

平成30年2月9日～12日に田原市で開催された「あいち花フェスタ in 東三河」会場内に「第4回いいともあいちフェア即売会 in 東三河」ブースを設け、県産農林水産物及び加工品販売の開催支援といいともあいち運動のPRを行いました。

当事務所は、「いいともあいちサポーター」の募集や「いいともあいち応援ガイド」、イメージソング「恋するレシピ」のCD配布を行い、いいともあいち運動の取組を紹介しました。

●活動の成果、今後の課題

「あいち花フェスタ in 東三河」特設会場内で開催したことにより、多くの来場者に地元農林水産物や加工品を知っていただく機会になったように思います。

また、いいともあいちネットワーク会員は11会員が出展し、4日間の開催期間の中で、出展者同士の交流も活発に行われました。

今後もいいともあいち運動のPRに努めます。




〈取組項目：協働活動の充実〉

〈取組場面：地域〉



IV 県や関係団体の取組一覧

「Ⅲ 平成 29 年度の主な取組の状況」で紹介した取組を含め、プランで位置付けた県や関係団体などが平成 29 年度に実施した取組については、次のとおりです。

 食を通じて健康な体をつくるために		
バランスのとれた規則正しい食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市	オリジナル野菜の歌「届け！野菜の力」の制作と体操を活用した啓発活動	12
	大型仕掛け紙芝居「コウくとバランスマン」	14
	健食健口教室	
愛西市栄養教諭・学校栄養職員部会	食生活アンケート調査	
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	協議会ホームページの充実 ～学校における食育の取組紹介～	
愛知県教育委員会健康学習室、瀬戸市教育委員会	つながる食育推進事業	8
愛知県健康対策課	健康づくりチャレンジ推進事業「あいち健康チャレンジ」	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (安城市立さくの幼稚園)	「野菜の名前当てクイズ」をして、野菜に親しみ、興味をもとう	7
あいち食育サポート企業団	いいともあいちフェア	14
愛知県小中学校長会	「あいち食育いきいきプラン 2020」で求められている学校の取組項目を視点とした調査研究	
愛知県食生活改善推進員連絡協議会	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業 (学生編)	10
愛知県西三河農林水産事務所、知立市保健センター、食育推進ボランティアグループ 米太郎、生活協同組合コープあいち	第 25 回知立市福祉健康まつり 食育コーナー	5
あま市	男性料理教室	
	マタニティ栄養教室	13
安城市	旬の野菜を使ったレシピを市公式 Web サイトへ掲載	
一般社団法人愛知県歯科医師会	0 歳児からの口腔機能育成研修会	
一般社団法人愛知県調理師会	子供のための愛情弁当コンテスト	
一般社団法人愛知県薬剤師会	妊娠・授乳サポート薬剤師	11

取組主体、団体名	取組名称	ページ
岩倉市、食の健康づくり推進員	プレママと産後ママの交流会	
	まんずまんずクッキング	13
	野菜料理プラス1皿の取組	
岩倉市、食の健康づくり推進員、 愛知北農業協同組合	新鮮！地場産！野菜料理フェア！	13
大口町立西保育園	楽しく食べる子供 ～食育サポートさんとの栽培を通して～	
大治町保健推進員	保健推進員栄養グループ主催料理教室	
大府市	3歳児健診時集団指導	
尾張旭市	シニアのための栄養講座	
	パパママ教室	
	骨コツヘルスアップ教室	
	毎週水曜日の「健康ランチ」	
	離乳食教室	
尾張旭市、市教育委員会	「簡単！栄養満点！朝ごはん」メニューコンテスト	
春日井市、配食事業者	配食サービス利用助成	
蟹江町	10か月児教室	
刈谷市	子育てカレッジ「大人のための食まるファイブ～ 食育ってなあに？」	
	男性のための栄養教室	11
刈谷市給食センター	「食生活に関するアンケート」の実施	
	家庭科授業「五大栄養素」	
	小学校2年生を対象とした給食訪問	
刈谷市中央子育て支援センター、南部子育て支援センター、北部子育て支援センター	食育に関する子育て講座の開催	
	離乳食レシピの閲覧および配布	
刈谷市南部子育て支援センター	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
刈谷市立重原幼稚園	食まる食育活動	13
刈谷市立住吉幼稚園	食まる食育活動	
刈谷市立双葉保育園	食育ボード、給食サンプル提示、給食レシピ紹介の設置	
北名古屋市	食育による認知症予防事業 そば打ち体験 in 大桑村	
	男性のための料理教室	
	出前講座（栄養講話及び調理実習等）	
	配食サービス	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
北名古屋保健センター	パパママ教室（妊娠中の食事について）	
	保育園での食育講話	
	離乳食講習会（入門編。実践編）	
清須市	乳幼児健康相談	
	乳幼児健診（10 か月、1 歳 6 か月、3 歳）	
	パパママ教室	
	離乳食講習会（初期・中期）	
北名古屋保健センター、清須保健所管内 栄養士会	農業祭における食育ブースでの食育活動	
公益財団法人愛知県学校給食会	平成 29 年度学校給食教室	
小牧市、小牧市生活改善実行グループ連絡 研究会	市民講座	
社会福祉法人 へきなん保育園	食育カリキュラム	
社会福祉法人 へきなん保育園、 子育て支援センター	食育だより、食育新聞	
食育知立の会	保育園による食育活動	
瀬戸市	「園だより」等を活用した保護者向けの講座の実施	
	「食」に関する知識と選択する力を学習するための教育の 実施	
	イベントにおける食育啓発の実施	
	学校における保護者への食育啓発	
	減塩レシピなどをホームページに掲載	
	広報誌やラジオを活用した食育啓発の実施	
	小学 1 年生を対象にした食育指導	
	小学 3、4 年生を対象にした食育指導の実施	
	地域包括支援センター事業における食育推進の取組	
	幅広い世代を対象とした食育の推進	
	幅広い世代を対象とした相談の実施	
田原市	簡単野菜たっぷり朝食レシピの開発	
知多市	野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシー メニュー」	12
知多市健康づくり食生活改善協議会、 知多市	食育の日啓発イベント	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
津島市	食育キャラクター「食まるファイブ」を使用した食育紙芝居とクイズ・寸劇	
東郷町	東郷町「食」の自立支援事業	
東郷町給食センター	学級訪問栄養指導（小学生）	
	学級訪問栄養指導（中学生）	9
東郷町立音貝保育園	バランスのとれた食生活	
飛島村	エプロンシアター	14
豊明市	食育ネットワーク会議を通じてのとよあけヘルシーレシピ普及事業	
豊田市	高校生への食育講座	7
豊根村	離乳食教室	6
長久手市	離乳食教室	
長久手市給食センター	給食センター施設見学試食会	10
	給食だよりの発行	
日進市	10か月なかよし教室	
	30代さわやか健診結果説明会	
	赤ちゃん相談	
	健康・福祉フェスティバル	
	広報誌発行	
	成人向け料理教室（食生活改善推進委員会委託）	14
	にしん健康マイレージ事業	
	入園説明会、保育参観、懇談会等行事の折に啓発	
	乳幼児健康診査（3～4か月児）	
	乳幼児健康診査（1歳半、3歳児）	
	ヘルピー健康だより配布	
	保育園出前講座（食生活改善推進委員会委託）	
	保育活動	
	マタニティ教室	
野菜をとろうキャンペーン		
日進市給食センター	朝食指導	
半田市内小中学校	食に関する指導	
東浦町	男性健康づくり料理教室	
碧南市立大浜保育園	給食サンプルの展示	
碧南市立日進保育園	食育講座（体の中の働き、元気なうんち、朝ごはん）	
みよし市食育推進会議	産業フェスタでの食生活診断実施	9

生活習慣病や過度な痩身等の予防		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県国公立幼稚園・こども園長会(常滑市立常滑幼稚園)	親子歯みがき教室	15
一般社団法人愛知県歯科医師会	第7回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト	
	平成29年度愛知県歯科医師会食育推進研修会	16
稲沢市	いきいきいなざわ減塩講座	
岩倉市	健幸チャレンジ教室	16
岩倉市、食の健康づくり推進員	食の健康づくり推進員栄養教室	18
岩倉市、保健推進員、食の健康づくり推進員	保健推進員活動における栄養教室	
尾張旭市	あなたのためのちょいやせ道場	18
	一般元気まる測定	
	ヤングのうちから健康みつめ隊	
刈谷市給食センター	「生活習慣病の予防」を取り上げた授業の実施	
北名古屋保健センター	よいこの歯みがき運動	18
清須市	健康づくり	
	市民健康講座「しなやかな血管づくり」	
	出前講座	18
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	健康づくり教室、健康カレッジ(通所型)「リバウンドしないダイエットセミナー」	17
公益社団法人愛知県栄養士会	あいち県民健康祭「なんでも栄養相談」	17
社会福祉法人 へきなん保育園	歯について考える	
瀬戸市	エプロンシアターを使用した衛生指導の実施	
日進市	食事相談	
	特定保健指導	
食の安全に関する信頼の構築		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県子育て支援課	保育士等キャリアアップ研修	
愛知県食育消費流通課	研修会やパンフ等による表示制度の理解促進	19
	食品表示110番の運営	19
愛知県生活衛生課、一般社団法人愛知県食品衛生協会	HACCP導入基礎研修	20
愛知県生活衛生課、厚生労働省・東海北陸厚生局、スギ製菓株式会社、株式会社明治 明治なるほどファクトリー愛知	現地見学型リスクコミュニケーション	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
岩倉市	乳と卵の除去食の提供	21
尾張旭市	給食センター見学	
	食育講演会及び学校給食試食会	20
社会福祉法人 へきなん保育園	除去食について	
瀬戸市	「食」の安全性について、保護者への啓発	
	アレルギー除去食の提供（保育園）	
	アレルギー除去食の提供（学校）	
	アレルギーを持つ児童の保護者との定期的な面談（保育園）	
	アレルギーを持つ生徒の保護者との定期的な面談（学校）	
	栄養教諭など関係者によるアレルギー対応研修会の開催	
	自分自身で安全安心な「食」を選択する力を育む	
	瀬戸市推奨農産物「せとのもの」を認証	
	保育士など関係者によるアレルギー対応研修会の開催（保育園）	
	保育所と連携した食品衛生監視の実施（保育園）	
保健所と連携した食品衛生監視の実施（学校）		
碧南市立大浜保育園	アレルギー児、エピペンについての説明	21



食を通じて豊かな心を育むために

食を楽しむゆとりの確保

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知教育大学付属岡崎小学校	給食を通じて食に対する「感謝の心」を育てる	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会(名古屋市立はとり幼稚園)	食育で子供の笑顔と元気をつくろう	22
愛知県国公立幼稚園・こども園長会(碧南市立新川幼稚園)	「調理員さんありがとう」一緒に食べようふれあい給食	
愛知県西三河農林水産事務所	食育の日 庁内放送	24
岩倉市	シェフのスペシャルメニュー	24
尾張旭市	皆が食べられる学校給食の日	
春日井市	SNSを活用した食育月間及び食育の日、共食の啓発	23
北名古屋市	地域ふれあい食事会	24
社会福祉法人 第2へきなん保育園	米、野菜を育てる	
社会福祉法人 へきなん保育園	献立について	
瀬戸市	敬老会事業における会食の補助	
	地区社会福祉協議会における会食会	
東郷町立たかね保育園	保育園でいろいろな食品や料理を味わう	
東郷町立和合保育園	野菜を栽培、収穫しながら給食の素材に関心を持ち、食べることを喜ぶ	23
日進市	保育園給食の実施	
	保育園給食の展示	
日進市給食センター	献立表	
日本労働組合総連合会 愛知県連合会	連合 男女平等月間キャンペーン 街頭活動	
碧南市社会福祉協議会 西畑保育園	あいち新たまねぎ	

体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市、あいち海部農業協同組合	トマト・加工用トマト収穫体験&ケチャップづくり体験教室	
愛西市教育委員会	生涯学習講座 親子教室	
愛西市食育推進専門部会	男子自立クッキング	28
愛西市立佐屋中央保育園	トマト農園を見学して、トマトの栽培について教えてもらおう	
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	食農教育研修会への参加	
愛知県教育委員会健康学習室、公益財団法人愛知県学校給食会、東海学園大学	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	29

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県国公立幼稚園・こども園長会(清須市立西枇杷島第1幼稚園)	栽培し収穫したさつまいもをおいしく食べよう!	
愛知県立農業大学校	県民公開講座「農業ふれあい研修」出前授業	
	農業理解研修「県民公開講座」現地研修	29
	農業理解研修「農業ふれあい研修」	
愛知消費者協会	にんじんの会	
あま市学校給食センター	平成29年度親子料理教室	31
あま市食生活改善推進員連絡協議会	親子料理教室及び高校生のための生活習慣病予防講座	
大口町立北保育園	いちご栽培及びいちご狩り	
大口町立南保育園	南地域食育サポートの方との交流(カレーパーティー)	27
尾張旭市	あったらいいなこんな給食	
	親子で元気まる測定	
	夏休み親子料理教室	
蒲郡市	蒲郡市子ども農業教室	28
蒲郡市漁協女性部連絡協議会	夏休み親子魚料理教室・一般市民魚料理教室	32
刈谷市	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
	親子料理教室	
	地元の食材をつかって親子で作ろう! 『食まるファイブのニンニンサラダ!～食まる5人をそろえよう～』コンテスト	
刈谷市立日高保育園	野菜の栽培と食育	
刈谷市立富士松北保育園	刈谷市の特産品、大根を育てよう	27
刈谷市立富士松南保育園	ありがとう	
刈谷市立双葉幼稚園	親子さつまいも栽培	
北名古屋市	いきいき農業塾	
	レジャー農園	
北名古屋市立保育園	野菜の栽培とクッキング	32
清須市	親子料理教室	
	食事への興味、関心	
	農業体験塾	
	保育園さつまいも苗植え収穫体験	
	保育園宮重大根収穫体験	
	レジャー農園、市民農園	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
公益財団法人愛知県学校給食会	親子工場見学会	32
	親子食育体験教室	
幸田町	親子農業体験教室	
幸田町青年農業会議	夏休み子ども農業体験教室	30
江南市保健センター	親と子の栄養教室	31
社会福祉協議会 棚尾保育園	棚尾地区再生会の方たちのとさつまいも掘り	
社会福祉法人明生会 東郷せいぶ保育園	あきまつり～収穫祭～	
瀬戸市	親子料理教室	
	学校における農業体験学習の実施	
	基礎的な調理技能の取得	
	クッキング保育の実施	
	食育出前授業の実施	
	玉ねぎ収穫体験の実施	
	地産地消について理解し、瀬戸の農産物を知る。	
	保育園における「ふれあい会食」の実施	
	保育園における農業体験学習の実施	
	保育園における農業体験学習を通じた感謝の心の育成	
高浜市立翼小学校	第8回こども食育発表会	
武豊町農業委員会	さつまいも作り体験	33
武豊町家庭推進協議会	田んぼの教育	
田原市	食育講座	31
東郷町	和菓子作り教室	
東郷町立中部保育園	お野菜いっぱい育ててレッツクッキング	
東郷町立南部保育園	なんてたって なんぶばたけ！	33
特定非営利活動法人 Earth as Mother	「在来作物（伝統野菜）と食の原点を守り継ぐ」未来へつなぐ食生活と農業	
	郷土の伝統野菜「大根を作ろう！」	33
常滑市、株式会社昭和、常滑市生活改善協議会、愛知県知多農林水産事務所、鬼崎漁業協同組合	親子のお魚教室 ～みんなで一緒にお魚を楽しく学ぼう！～	4
飛島村小中一貫教育校飛島小学校	飛島村の野菜づくりの達人から様々な技を学ぼう	
豊川市	「おいでん祭食育コーナー」の実施	
	「食育キッチンファーム」の開催	25

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊橋田原広域農業推進会議	地産地消料理教室	
西尾市	親子で稲刈り体験とみたらしだんごづくり	
西尾市	米づくり体験教室	
	魚をみて・さわって・さばいて食べよう！親子で魚食教室	
	スギ薬局と市内女性農業者との連携事業	
	スギ薬局と道の駅との連携事業	
	地産地消！親子で肉まんを作ろう	
	地産地消でイタリア料理を作ろう	33
	豚肉を使ったアイデア料理コンテスト	
日進市	クッキング保育の実施	
	小中学校での収穫体験	
	食育たんけん隊（食生活改善推進委員会委託）	
	朝食摂取啓発リーフレットの配布	
	夏休み親子料理教室（食生活改善推進委員会委託）	
	園庭での野菜栽培等	
	保育園給食カレンダーの配布 園だより、保健だより配布	
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業	
半田市農業経営士会	食のフェスティバル	
半田市立岩滑こども園	手作りポップコーンに挑戦！！	
半田市立乙川児童センター	ヤクルト出前授業	26
半田市立高根保育園	味噌作り	30
碧南市社会福祉協議会 荒子保育園	地域老人会の方たちとのもぎ取り体験	
碧南市立大浜保育園	夏野菜の栽培	
碧南市立築山保育園	地場野菜のもぎ取り体験	
碧南市立築山保育園	保育園での夏野菜の栽培	
碧南市立羽久手保育園	夏野菜を育てよう	
碧南市立鷺塚保育園	ふれあい農園の体験保育	
美浜町都市農村交流協議会	美浜グリーン・ツーリズムを通じて食育体験	26
日本の食文化や郷土料理等の理解と継承		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県園芸農産課	愛知県茶会	
	茶育教室	39

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県教育委員会健康学習室	愛知を食べる学校給食の日	
愛知県食育消費流通課	あいち食育いきいきシンポジウム、郷土料理講習会の開催	38
愛知県農業協同組合中央会	栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会	34
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	食育講座「いちじくジャム作り」、「おこしもの作り」	
一般社団法人 MOA インターナショナル愛知	こころとカラダの健康づくり「食育活動体験会」の開催	
大口町	”だしと和食”をテーマにした食育啓発	37
大治町	生産者と児童生徒の交流	36
岡崎市	食育総合展示会の開催（地域の魅力再発見食育推進事業）	
	食文化の保護・継承のための調理体験等の実施	40
	食文化の保護・継承のための料理講習会の開催（地域の魅力再発見食育推進事業）	
尾張旭市	押し寿司づくり体験コーナー	40
	押し寿司レシピ集「旭押し寿司絵巻」の募集	
	農政講座	
刈谷市	地元農産物を活用した学校給食提供時における生産者の学校訪問	
刈谷市学校給食センター	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	35
北名古屋市市民団体	食育講座	
北名古屋市立保育園	食事作法を知る	
清須市	小学生宮重大根栽培収穫体験	39
	食育まつり	
	中学生土田かぼちゃ料理教室	
	人間関係とマナー	
公益財団法人愛知県学校給食会	郷土料理講習会	
	地場産物料理講習会	35
合資会社野田味噌商店	味噌を通じて豊田地域の食文化を伝承 ～味噌蔵 ひとつなる祭～	37
小牧市、小牧市野菜（そさい）研究会	地元産野菜の販売	40
社会福祉法人 へきなん保育園、子育て支援センター	親子で食育	
生活協同組合コープあいち	ラブ・キッチン・カフェ	
瀬戸市	学校給食における瀬戸らしい食文化を継承するための取組	
	学校給食における地産地消を推進する取組①	
	学校給食における地産地消を推進する取組②	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
瀬戸市	学校における段階に応じた食育授業	
	正しい「はし」の持ち方指導	
	保育園給食における瀬戸らしい食文化を継承するための取組	
瀬戸市アグリカルチャー推進プロジェクト チーム	学校給食における地産地消の推進	
	瀬戸市推奨農産物の流通推進	
東郷町給食センター	保育園児を対象とした食育の取組	34
特定非営利活動法人 Earth as Mother	旬の野菜を活用した伝統料理講座	
豊川市	「とよかわおもてなしレシピグランプリ！」の開催	
西尾市	うなぎ給食と西尾を味わう学校給食の日	
	郷土料理を学ぼう！子育て世代の「簡単箱寿司づくり教室」	
	郷土料理を学ぼう！地産地消で箱寿司づくり	
	地産地消料理教室	
	西尾産大豆を使った味噌づくり教室	
	西尾市観光協会食部会による食育講座	36
日進市	市民講座	
	保育園給食の実施	
	ホームページ掲載	
日進市給食センター	学校給食（行事食、和食）	
	学校給食（地産地消）	
	献立表、給食だより、食育ポスター、試食会、給食指導	
みよし市	市内の小学生とその保護者を対象としたおこしもん作り体験	
弥富市	愛知の郷土料理を味わう学校給食の日	



食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

食生活における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県環境活動推進課	エコアクション推進フェアの開催	43
	環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布	
	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	
愛知県食育消費流通課	あいちエコ食スタイル研修会、調理講習会の開催	42
安城市	「食品ロスを知っていますか？」チラシ作成・配布	43
岡崎市	食品ロス削減に向けた取組(地域の魅力再発見食育推進事業)	44
刈谷市	親子で作ろう！エコ・クッキング講座	41
刈谷市学校給食センター	中学校1年生を対象とした給食訪問	
ごみゼロ社会推進あいち県民会議、愛知県資源循環推進課	ごみゼロ社会の推進に向けた活動の実施	
瀬戸市	環境学習出前講座	41
	ごみ減量推進会議と連携した取組	
	食品工場見学	
	せと環境塾「エコ・クッキングに挑戦！」	
	せと環境塾「環境にやさしい親子料理教室」	44
	ぼかし肥料作りの実施	
長久手市	エコ・クッキング教室	
日進市	朝市	
	エコクッキング	
	広報誌発行	

農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市農畜産業振興会	愛西市アグリぐるぐるスクール	
愛知県園芸農産課	小麦「きぬあかり」、「ゆめあかり」の普及推進	
愛知県尾張農林水産事務所	尾張地域いいともあいち地域サロン交流会	45
愛知県新城設楽農林水産事務所	山里美味展示会	48
愛知県農業振興課	産地直売所の交流機能強化を推進	47
	食と花の街道認定事業	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県農地計画課	2017 グラウンドワーク&多面的機能支払活動 サミット in 東海	
	愛西市鶴戸川釣り大会	
	あいちの農業用水展	47
	農地・水・環境のつどい	45
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	いちじく畑の見学	
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	田んぼアート	
安城市	食と農の祭典 安城マルシェ in アンフォーレ開催	
安城市農畜産物特産品協議会	産学官連携事業 安城梨の消費拡大に繋がるレシピ開発 とその普及活動	46
板山池田の農地を守る会	どろんこアカデミー	
尾張旭市観光協会	市役所ロビーでの特産品販売	
北名古屋	水田魚道生き物観察会	
豊川市	とよかわ農業市	
豊橋市	たべりんとよはしスタンプラリー	46
農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県資源循環推進課	多量排出業者における産業廃棄物処理計画書の作成	
愛知県水産課	県内における資源管理の促進	48
日進市	保育園給食の実施	



食育を支える取組

食育に係る人材の育成と活動の充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県海部農林水産事務所	海部地域食育推進ボランティア研修交流会	
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	学校で使用する食農教材「愛知県地図タペストリー」の作成	51
愛知県尾張農林水産事務所	尾張地域食育推進ボランティア研修交流会	50
愛知県漁業士協議会	料理講習会による魚食普及活動	
愛知県食育消費流通課	地域食育推進ボランティア研修交流会の開催	
愛知県東三河農林水産事務所	東三河地域食育推進ボランティア研修交流会	52
岩倉市	食の健康づくり推進員研修会	
清須市	食生活改善推進員再教育事業	51
	食生活改善推進員養成講座	
	望ましい食習慣	52
公益財団法人愛知県学校給食会、愛知県教育委員会	平成 29 年度学校給食献立コンクール	49
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	みよし市食生活健康推進員養成教室における講演会	50
瀬戸市	食育指導案の作成・実践（保育園）	
	食育指導案の作成・実践（小中学校）	
	食生活改善推進員や保健推進員の養成講座等の開催	
	瀬戸市地域力向上活動推進補助金制度を活用した地域における食育活動の実施	
	せと市民活動応援補助金を活用した食育活動の実施	
瀬戸市アグリカルチャー推進プロジェクトチーム	「せとのもの」コンシェルジュ活動推進	
長久手市	食生活改善推進員養成講座	52
西尾市	食育啓発用クリアファイルの作成	
日進市	食生活改善推進員活動支援事業	
農村輝きネット・あいち	農村輝きネット・あいちの技人認定式及び研修会	
関係者の役割分担とネットワークの充実		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県県民生活課	あいち消費生活情報メールマガジン配信	
	消費生活情報「あいち暮らしっく」発行	
愛知県食育消費流通課	イベントでの食育推進ボランティアへの活動支援	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県新城設楽農林水産事務所	新城設楽地域食育推進ボランティア研修交流会	53
愛知県知多農林水産事務所	知多地域食育推進ボランティア研修交流会	54
愛知県豊田加茂農林水産事務所	豊田加茂地域食育推進ボランティア研修交流会	53
愛知県西三河農林水産事務所	西三河地域食育推進ボランティア研修交流会	54
岩倉市健康づくり推進協議会	市民ふれ愛まつりにおける健康フェアの実施	
岡崎市	食育推進検討会の開催（地域の魅力再発見食育推進事業）	
小牧市	いきいきこまき（食育ブース）	
瀬戸市	食育推進ボランティアと地域との連携を支援する取組①	
	食育推進ボランティアと地域との連携を支援する取組②	
	食品ロス等の食育に関する情報提供や啓発の実施	
	瀬戸市食育推進検討会の開催	
いいともあいち運動の推進		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進	55
愛知県東三河農林水産事務所	いいともあいちフェア即売会 in 東三河	56

V 食育推進に関する問合せ先

◎愛知県

名 称	電話・ファクシ	電子メール・URL
農林水産部食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL http://www.pref.aichi.jp/shokuiku
健康福祉部医療福祉計画課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6265 FAX 052-953-6367	E-mail iryofukushi@pref.aichi.lg.jp URL http://www.pref.aichi.jp/soshiki/iryofukushi
教育委員会事務局保健体育 スポーツ課健康学習室 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail kenkogakushu@pref.aichi.lg.jp URL http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/sports/index.html

◎関係団体等

名 称	電 話	URL 等
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	—	http://www.aichi-ek.com/
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	http://www.aikeikyo.com/
愛知県国公立幼稚園・こども園長会	052-961-5506	(問合せ先 名古屋市立第一幼稚園)
愛知県小中学校 PTA 連絡協議会	052-251-8820	http://www.aichi-syoucyuu-p.com/
愛知県小中学校長会	052-261-8152	http://aikochou.ec-net.jp/
愛知県食生活改善推進員連絡協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	http://www.chu.aichi-ja.or.jp/
愛知県農業経営士協会	052-954-6413	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	http://www.aichi8020.net/
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	http://kenaicho.la.coocan.jp/
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-231-2261	http://www.apha.jp/
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	http://aigaku.org/
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0205	http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4151	http://www.aichi.med.or.jp/
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	http://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	http://www.aichi-fukushi.or.jp/
生活協同組合コープあいち	052-703-1501	http://www.coop-aichi.jp/
日本チェーンストア協会中部支部	0587-24-8093	(事務局 コニー株式会社内)
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	http://www.rengo-aichi.or.jp/
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農林水産部食育消費流通課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6396 (ダイヤルイン) E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp

「食育ネットあいち」ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/index.html>

デザイン/愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



2018年版